

共に生きる人間として

— 平和・国際理解学習を通して —

吉岡栄作 YOSHIOKA EISAKU

窪川町立窪川小学校（高知県）

- 実践教科 総合的な学習の時間
- 時間数 31時間
- 対象学年 6年 ●対象人数 65名

●●カリキュラム●●

実践の目的

我が国と関連の深い国の生活や国際社会における我

が国の役割を理解し、平和を願う日本人として世界の
人々と共に生きていくことが大切であることを自覚す

る。

授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
12時限 国際協力とは… 難民問題、国際援助、日本の役割について知る。	国際協力推進員の方を招聘し、平和な世界になるための日本の役割について考える。	・パソコン(PC) ・プロジェクター(PJ)
夏休み 世界の国を調べよう 外国のことを調べることを通して、外国への関心を高める。	日本が援助を行っている10ヶ国の中から1ヶ国を選び、その国のことを調べる。	・ジュニア朝日年鑑 ・世界の国々大百科 ・インターネット等
624時限 ガーナってこんな国 ガーナについて知る。	YES・NOクイズを通して「ガーナ」の歴史、人、生活、教育等を知る。	・世界地図・ガーナ地図 ・ガーナ紙幣 ・PC・PJ・ビデオ・現地の写真
6216時限 YES・NOクイズを作ろう YES・NOクイズを通して、自分が調べたことをより深め、他の国についても関心を持つ。	夏休みに自分が調べた国のYES・NOクイズを作り、その国の紹介をする。	・外務省・JICAホームページ
14216時限 "幸せ"って何だろう 開発途上国と日本とを比較しながら、本当の幸せについて考える。	国際協力推進員の方を招聘し、世界の人々が幸せに暮らすには何が必要か考える。	・PC・PJ
16217時限 インドと私 インドについて知る。	インドで大学の教授をしていた方を招聘し、インドの生活、習慣等を知る。	・世界地図・スライド
16219時限 国際交流員となって アメリカについて知る。外国人から見た日本の印象を聞く。	国際交流員として窪川町に赴任している方を招聘し、母国(アメリカ)の紹介と国際交流員としての仕事を知る。	・アメリカ合衆国地図 ・写真・PC・PJ



時間・テーマ(ならい)	方法・内容	使用教材
20/21時間 青年海外協力隊とは 青年海外協力隊について知る。 パプア・ニューギニアについて知る。	元青年海外協力隊の方を招聘し、派遣国(パプア・ニューギニア)について知るとともに、青年海外協力隊の活動について知る。	・YES・NOクイズ(パプア・ニューギニア編) ・PC・PJ
22/23時間 共に生きる人間として これまで学習してきたことをもとにテーマを設定し、意見発表会を行う。	グループでテーマを設定し、書籍やインターネットを用いて調査し、まとめ、発表会を行う。	・ジュニア朝日年鑑 ・世界の国々大百科 ・インターネット等

● ● 授業の詳細 ● ●

【1・2時間】国際協力とは…

国際協力推進員（JICA四国支部 大原健治氏）を招聘し、世界中で2千万人ほどいるといわれている難民問題、そして、日本もかつて受けていた国際援助の現状、先進国日本の役割等のお話をしていただいた。平和な世の中でなければ豊かになれない。平和になるためには世界を知ることが大切であるということ聞き、自分たちにできることは何なのかを考える時間となった。

【夏休みの課題】世界の国を調べよう

夏休みを利用して、「日本が援助を行っている国の中から子どもたちが知っているであろうと思われる国10カ国（モンゴル、ラオス、タイ、ベトナム、エジプト、ケニア、セネガル、ナイジェリア、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ）を抽出し、その中から1カ国を選び、その国を調べる課題を出した。子どもたちが選んだのは、モンゴル8名、タイ16名、ベトナム5名、エジプト5名、ケニア5名、ブラジル12名、アルゼンチン5名、メキシコ8名、南アフリカ共和国1名であった。選んだ理由は「何となく、興味があった」が大半であったが、中には「その国のことをTVで放送していたから」「親や知人が行った事がある国だから」というものも数名いた。子どもたちは図書館の書籍やインターネットを利用し調べていた。調べた内容は、首都、人口、面積、気候、人口密度、主な言語、通貨単位、国民総生産、食べ物、服（民族衣装）、住んでいる家、

平均寿命、就学率、性格（何が好き）、その他である。

【3・4時間】ガーナってこんな国

今回、私が研修してきたガーナ共和国について知り、次時につなげることができるようにクイズ（YES・NOクイズ）を作成し、答え合わせをしながら補足説明をしていく形で授業を行った。補足したこと等は以下の通りである。《問題は資料1.YES・NOクイズガーナ編を参照》

YES・NOクイズの進め方

- ①カードを1セットずつ配布する。
- ②問題1からスタートし、その答えが「YES」又は「NO」か考える。
- ③答えに応じて、カード下部に書いてある番号のカードに移り、また問題を答えていく。
- ④答えが全て正解ならば、手元のカードはなくなる。
- ⑤手元のカードが残ればどこかが間違っているのを見直す。
- ⑥説明を加えながら、答え合わせをしていく。



「ガーナってこんな国」授業中

問題1…世界地図を見せ、ガーナ共和国の位置を確認する。

(正解はYESで問題4へ)

問題4…イギリスの植民地であり、1957年に独立した。

(正解はYESで問題8へ)

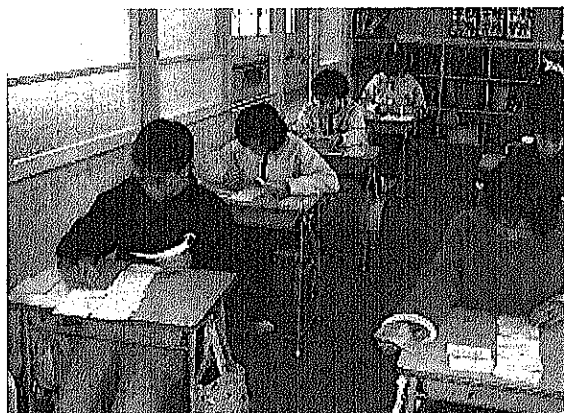
問題8…米を作っているが少なく、食べるのは日本という盆と正月だけである。ガーナの庶民の代表料理は『フーフー』という、キャッサバ(芋)やヤマイモをふかして、餅つきのように杵と臼でつき、それをトウガラシとトマトをベースにしたスープに入れて指でちぎりながら食べる料理である。〔研修先で実際に食べた時の写真を見せながら説明した。〕

(正解はNOで問題9へ)

問題9…車は右側通行。信号のある交差点は少なく、交差点はロータリーになっている。首都アクラは大変車が多く、渋滞している。日本では廃車になってしまうような車がたくさん走っていた。交通機関として『トロトロ』『ルートタクシー』『タクシースナップ』『ローリー』と言われるものがあり、1台のワゴン車に20人近く乗せて走ることや車の屋根の上に荷物を載せて走っていたことを写真を見せながら説明した。

(正解はNOで問題11へ)

問題11…きちんと制服を着ている。シャツにはアイロンがかかっている。(写真を見せる)



YES・NOクイズに挑戦中

(正解はNOで問題15へ)

問題15…写真は大好きである。カメラを向けるとたくさん子どもたちが集まってきた。

(正解はNOで問題3へ)

問題3…首都アクラは大都市である。自分たちの住んでいる町よりも大きな建物もある。(写真を見せる)しかし、首都から離れるとランプやろうそくで生活しているところもある。実際、研修中一晩はろうそくで過ごした。

(正解はNOで問題12へ)

問題12…1987年に6-3-3制になる。それまでは6-4-7制であった。

(正解はYESで問題7へ)

問題7…カカオの実は木の幹に実る。(写真を見せる)

(正解はYESで問題13へ)

問題13…小学校の1時間は30分授業である。しかし、1日に9時間授業である。学習するのは、英語、算数、理科、社会、道徳、現地語の6教科である。(訪問した学校の時間割表を見せる)

(正解はYESで問題5へ)

問題5…通貨単位はセディである。1ドルが7900セディ、1000セディが約15円である。

5000、2000、1000セディ紙幣と500、200、100、50セディ硬貨がある。10人ぐらいで食事をするとなん十万セディにもなり支払いが大変時間がかかった。

(正解はNOで問題10へ)

問題10…エルミナ城は奴隷がアメリカやヨーロッパに連れ出されるときに使われた建物である。(写真を見せる)

(正解はNOで問題2へ)

問題2…熱帯性気候で首都アクラの平均気温は24～29℃である。降水量は年間700mm程度である。8月が最も涼しい。雨期(3月～9月)と乾期に分かれ、湿度が北部地方を除いて高く80%前後である。

(正解はNOで問題14へ)

問題14…就学率は75.7%である。(2000年)

(正解はNOで問題6へ)

問題6…時差は9時間である。日本より9時間遅れである。



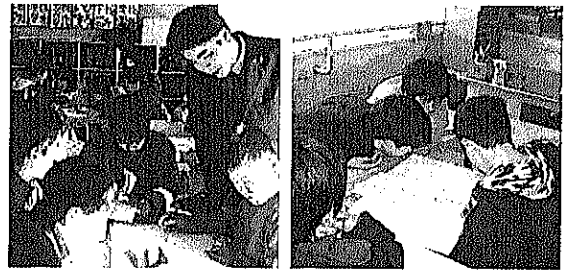
Ghana

(正解はNOで問題1へもどり終了)

YES・NOクイズの答え合わせの後、番外編として、黄熱病を研究中ガーナで亡くなった野口英世の研究室や銅像、川下り体験や日本大使館訪問のときの写真等を見せ、日本とガーナとの結びつきを知らせ授業を終えた。

●子どもの感想

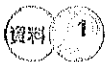
- ・私は、アフリカというだけあって、手にヤリを持って動物を追い掛け回しているのかなぁというイメージがありました。でも、車もあるし、バスもあるし想像していたよりいい所だと知りました。外国って本当に日本と違いがあるんだなと思いました。
- ・頭によくあんな食べ物や水を乗せて歩けるなぁと思いました。僕は周りは砂漠ばかりで人も町も少ない所だろうと思っていました。けど、結構車も走っていてびっくりしました。太鼓で会話をするのはすごいと思いました。
- ・僕たちとどれくらい違いがあるのかが分かりました。ガーナの子どもたちは、みんな裸で勉強しているのかなぁと思っていましたが、みんなちゃんと制服を着ているということや車はボロボロだけどちゃんと乗っているということが分かりました。



YES・NOクイズ作成中

[5~13時限] YES・NOクイズを作ろう

夏休みに調べた国の「YES・NOクイズ作り」(5時間)、「他の国のクイズを解く」(4時間)を行った。全員の子どもたちに作らせたかったのだが、人数的なものもあるので同じ国を調べたものがグループになりク



3・4時限

■Yes・Noクイズ(ガーナ編)■

①ガーナ共和国は、赤道より北にある。 Yes…④ No…⑤	②ガーナ共和国は、年中40℃近い高温の日が続く。 Yes…⑧ No…⑭
③ガーナの首都アクラでは、ランプを使った生活をしている。 Yes…⑬ No…⑫	④ガーナは以前イギリスの植民地であった。 Yes…⑧ No…③
⑤ガーナの通貨単位はセディである。 Yes…⑫ No…⑩	⑥ガーナと日本との時差は12時間である。 Yes…⑦ No…①
⑦チョコレートの原料であるカカオの実は木の枝にならず、木の幹に実る。 Yes…⑬ No…④	⑧ガーナ人の主食は米である。 Yes…⑥ No…⑨
⑨主な交通手段が自動車であるガーナでは、車は日本と同じ左側通行である。 Yes…① No…⑪	⑩世界遺産に登録されているエルミナ城は、チョコレートを輸出する港として栄えた城である。 Yes…⑭ No…②
⑪ガーナの小学生は、ほとんどが裸で授業を受けている。 Yes…⑧ No…⑮	⑫ガーナの義務教育は日本と同じ9年間である。 Yes…⑦ No…③
⑬ガーナの小学校の授業は、日本と違い30分授業である。 Yes…⑤ No…⑨	⑭ガーナの小学生の就学率は60%程度である。 Yes…⑪ No…⑥
⑮写真を撮られると魂を抜かれると信じているガーナの子どもはカメラを見せると逃げる。 Yes…⑩ No…③	

イズ作りを行った。(9カ国11グループ) (資料2、3に一部抜粋) グループによって差はあったが、大変意欲的に取り組めた。番号の付け方、補足説明を考えるのに時間がかかった。

●子どもの感想

- ・僕はメキシコのことを調べてたくさんのが分かりました。他の国のことも分かりました。モンゴルは森がないことやエジプトの壁画のことなど色々分かりました。ベトナムの問題は難しかったです。とても楽しかったです。
- ・問題を作るのがとても楽しかったです。苦労して問題を作って誰も正解しなかったのがよけいに嬉しかったです。
- ・YES・NOクイズを自分たちで作ると聞いてワクワクしていました。作るのが始まって調べていると、今まで知らなかったことや不思議に思ったことが多かったです。クイズができてくると、本当に最後までつながるのかなと心配になりました。できあがった時にはとても嬉しくなりました。みんなが一生懸命だったし、楽しそうだったので良かったです。またやりたいです。

【14～15時間】「幸せ」って何だろう

この時間も1・2時間と同様に大原さんにおいでいただき、「自分が行ってみたい国、住んでみたい国は？」「どうして住みたいのか」「幸せに暮らすためには何が必要か」「それは日本にあるか」「自分が選んだ国にあるか」という質問をしながら子どもたちが答えていくという形で授業を行った。

面白かったのは子どもたちの行ってみたい国と住んでみたい国が違っていたということである。また、住んでみたい国に日本と答える子どもが多かったことである。理由としては「自分が生まれたところだから。



「幸せって何だろう」授業中

住み慣れたところだから」等があった。外国を答えた子どももいたのだが、日本から離れたくないと思っている子どもが多かったのは意外であった。「幸せに暮らすには…」という問いには、「家族」という答えが一番多く、他に「仕事」「土地」「家」「食べ物」「友人」「健康」「自然」「愛」「お金」という答えがあった。

●子どもの感想

- ・日本は、他の国よりお金や食べ物など豊富だと思います。「幸せに暮らすために…」というところで、いろいろでたけど他の国より日本の方がたくさん当てはまっていたからです。住んでみたい国は中国を選んだけど、やっぱり日本がいいかなと思いました。自分が生まれた所だし、住み慣れているからです。世界には私の知らないことがまだまだたくさんあると思います。また勉強したいです。
- ・日本はいいところだなと思いました。それは、日本以外の国は生活に苦しんでいる人がたくさんいるからです。世界にはいろんな人が暮らしています。その人たちが苦しまないような生活が送れるようにできることはないか見つけたいです。
- ・日本は食べ物に困ってなくて普通に生活することが当たり前になっているけど、道具とかがない国はそれで当たり前になっていると聞いてびっくりしました。当たり前になっても大変だと思います。ものを大切にしようと思いました。
- ・夏休みに調べた国が、まだ国としてあまり進んでいないということが分かりました。けれど、そんな国があんなにたくさんあったのには驚きました。でも、どんなに不便でもその国で生まれた人たちはそこが一番住みやすいのかなとも思いました。私もやはり暮らすなら日本がいいなと思いました。

【16～17時間】インドと私

この時間は以前インドの大学へ教授として赴任していた経験をもつ山下幸一先生(本校講師)に、インドでの生活や習慣、学校のこと等について話していただいた。インドと言えばカレーというイメージしか持っていなかった子どもたちにとっては、インドの風景や建物を見るのは初めてで興味深く聞くことができた。特にインドの言葉、文字には興味関心を持っていた。

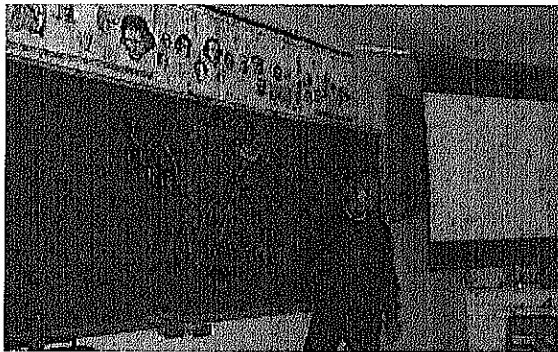
●子どもの感想

- ・インドの小学校は、朝7時から始まり、午前中に終わると



資料 2 5~13時限 黒子どもたちの作ったYes・Noクイズ (メキシコ編)

①メキシコ合衆国は、赤道より北にある。 YES…⑬ NO…⑧	②メキシコ合衆国の人口は、1000万人より多い。 YES…⑮ NO…③
③メキシコ合衆国の首都はラバースである。 YES…⑤ NO…⑥	④メキシコの人に道を聞く時は、「何ブロック先ですか」と聞くのが普通である。 YES…⑲ NO…②
⑤メキシコ合衆国の宗教はマトリックである。 YES…④ NO…⑩	⑥メキシコ合衆国の通貨単位はディナールである。 YES…⑲ NO…②
⑦メキシコ人の男性の平均寿命は女性より低い。 YES…④ NO…⑪	⑧メキシコにあるポポカペトル山の標高は6563mである。 YES…⑫ NO…⑱
⑨メキシコのトウモロコシの生産量は、世界第1位である。 YES…⑱ NO…①	⑩メキシコの原油生産量は、世界第5位である。 YES…⑳ NO…⑥
⑪メキシコ合衆国の気候は、2季である。 YES…⑨ NO…⑭	⑫メキシコ合衆国の大統領は、フォックス・ケサダーである。 YES…⑰ NO…⑱
⑬日本の学校とメキシコの学校の授業の内容は全く同じである。 YES…⑮ NO…⑰	⑭メキシコにもホンダという日本製の車もある。 YES…⑫ NO…⑯
⑮メキシコでは靴をまったく履かないという人もいる。 YES…⑨ NO…⑤	⑯メキシコでは日本で人気のあるアニメのおもちゃはまったく売っていない。 YES…⑪ NO…③
⑰メキシコの有名な建物はティオティワカンというピラミッドである。 YES…⑦ NO…③	⑱メキシコの有名な植物はサボテンとマゲイである。 YES…⑥ NO…②
⑲メキシコの家は日本と同じような造りである。 YES…⑧ NO…①	⑳メキシコでは学校が終わるとアルバイトをする人もいる。 YES…⑯ NO…⑬



「インドと私」授業中

ということと外で授業をするので雨が降ったら学校は休みになるということに驚いた。しかし、インドでは雨が降ることはめったにないそうです。でも、午前中で終わりなんていいなと思いました。

インドにはいろいろな人種の人が出て、とても難しい名前が付けられているので複雑だなと思いました。それに人種だけじゃなくて食べ物や住んでいるところもたくさんあって楽しそうなおもしろいところだなと思いました。僕もいつか行ってみたいです。

【18~19時限】国際交流員となって

この時間は、窪川町に国際交流員として赴任しているエリカさんを招聘し、母国アメリカの紹介や国際交流員となったきっかけや国際交流員としての仕事、日本（窪川町）に来て思うことなどを話していただいた。子どもたちは4年生の頃からALTの方との英語活動を月に1時間行ってきていることもあり、外国の方（英語圏）と会うのは慣れたもので、楽しい雰囲気の中で授業を進めることができた。子どもたちの感想の中で、アメリカが50州あることや国内で時差があること、国旗の星の数等を知らなかったというのが多かったのは意外であった。また、アメリカにも田舎があるなんて知らなかったとあったのにはこれまでの学習を反省させられた。

●子どもの感想

・アメリカという国はよく知っていたつもりだけど、エリカさんの話や写真を見聞きして知らないこともたくさん出てきて、今まで以上にアメリカのことを良く分かったと

資料 3 5~13時限 子どもの作ったYes・Noクイズ(エジプト編)

①エジプトには新聞がない。 YES…⑭ NO…⑬	②エジプトでは料理を注文すると、テーブルに料理が山ほど積まれる。 YES…⑳ NO…㉒
③エジプトは暑いため一年中半そでで過ごす。 YES…⑥ NO…⑫	④エジプト人の時間の感覚は日本人より遅く、平気で夕食を夜中の1:00~2:00まで食べたりする YES…⑯ NO…②
⑤エジプトで出された料理を残すと怒られてしまう。 YES…⑥ NO…⑱	⑥エジプト人の平均寿命は80~90歳である。 YES…⑱ NO…㉔
⑦エジプトの古代パーマはヤギの糞で固められている。 YES… NO…⑫	⑧エジプトには電話がない。 YES…⑱ NO…⑫
⑨エジプトの言語はエジプト語である。 YES…⑯ NO…⑮	⑩エジプト人はいつもニコニコ笑っている。 YES…③ NO…⑯
⑪エジプトでもウルトラマンは放送されている。 YES…㉓ NO…⑲	⑫エジプトの人は自動車がたくさん走っていても、平気で信号無視をしたりする。 YES…① NO…②
⑬エジプトには完成していないピラミッドもたくさんある。 YES…④ NO…⑥	⑭エジプトの壁画は古代エジプト人たちが落書きしたものが多く。 YES…② NO…⑦
⑮エジプトのCMはほとんどが日本のパクリである。 YES…④ NO…⑤	⑯足を組むことはエジプトでは友好の印である YES…⑩ NO…③
⑰遊戯王に出てくる「ラー」「オシリス」「オベリスク」はすべて YES…⑱ NO…⑭	⑱古代エジプトの王たちは、「カルトゥーシュ」と呼ばれる物に名前を刻んだ。 YES…⑩ NO…⑧
⑲エジプトの7月の最高気温は41℃以上にまで上がる。 YES…⑳ NO…⑦	⑳エジプトには「死者の町」がある。 YES…⑧ NO…③
㉑エジプトの通貨単位はトグログだ。 YES…㉑ NO…⑰	㉑エジプトの人口は約6650万人以上である。 YES…⑪ NO…⑨
㉓アラビア語で「なぜ?」は「ルー」という。 YES…⑤ NO…⑨	㉓アラビア語で「リンゴ」は「トゥッファーフ」だ。 YES…⑯ NO…②

思います。アメリカの1つの州だけで日本全体が埋まるということは知らなかったのでビックリしました。実際に住んでいてそんなに狭くないと思っていたのに、外国の方には日本は小さい国だと分かりました。

日本とは全然違って建物や生活もそれぞれいい所があって、アメリカという国にすごく興味がわいてきました。ロシアの言葉や中国の言葉が分からなくても、心が通じ合っていたらエリカさんのように、またあの国に行きたいという気持ちができてくるんだなと思い、それは素晴らしいことだと思いました。大人になったら、いろんな国へ行って日本とはまた違う所を見つけてみたいです。私は日本という国が世界のいろんな国々と仲良くして、戦争で苦しんでいる人達を助けられたらなと思いました。

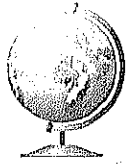
がある坂山英治先生(本校教頭)に派遣国(パプア・ニューギニア)の紹介と青年海外協力隊の活動についてお話をいただいた。パプア・ニューギニアの紹介は、YES・NOクイズ形式で行った。クイズの仕方には慣れていたのだが、ほとんどの子どもが聞いたこともない国のことであつたので苦労していた。青年海外協力隊の活動については活動の概要の後、実際に先生が行ってきたことについて話していただき、子どもたちは大変興味深く聞くことができた。身近にこういった経験のある人がいたことは子どもたちには驚きであつたようで、私にはありがたい事であつた。

●子どもの感想

[20~21時限]『青年海外協力隊とは』

この時間は、青年海外協力隊として派遣された経験

私は今まで青年海外協力隊には興味がなかったけど、どんどん興味を持つようになりました。実際に派遣された国へ



資料 4

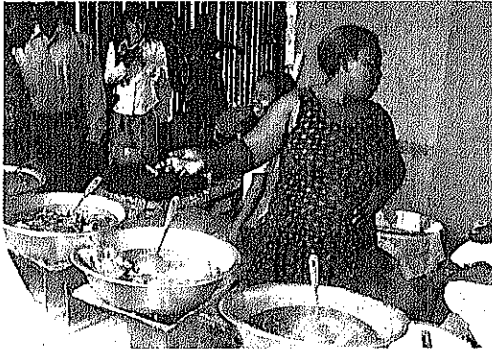
3・4時限「ガーナってこんな国」Yes・Noクイズ補足説明で使用
「GHANAウルルン滞在記」



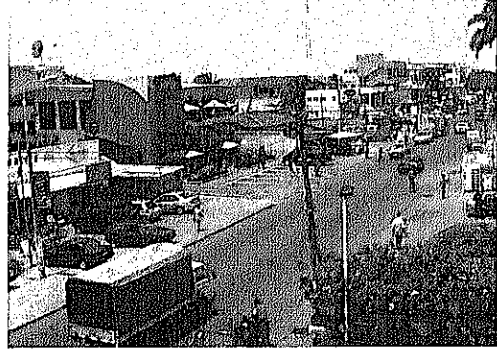
カカオの実は幹に実る (問題7)



チョコレートになる前は… (問題7)



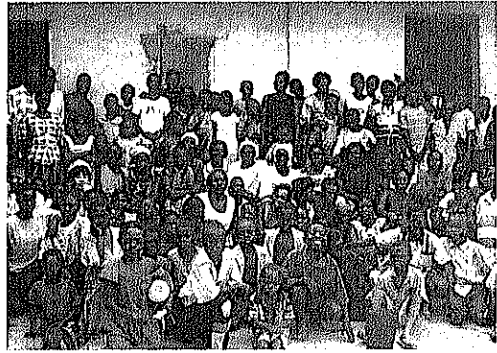
代表料理「フーフー」(問題8)



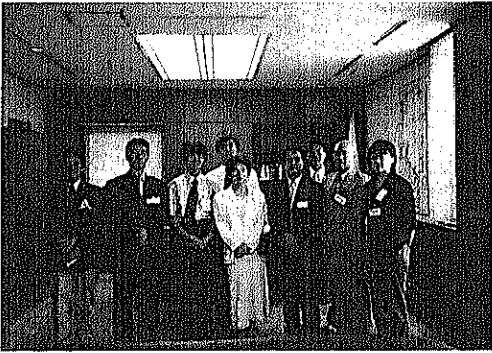
車は右側通行 (問題9)



制服を着ているよ (問題11)



みんな勢ぞろい (問題15)



番外編 日本大使館を訪問



番外編 野口英世の銅像前で

行っても具体的な仕事は言われなくて自分で考えてしなければいけないと聞いて大変だなと思いました。私が青年海外協力隊の隊員になったら米づくりを教えてください。

・青年海外協力隊の人達が、現在3千人ほどいると聞いてびっくりしました。この人達は船のことや車のこと農業のことを現地の人が知りたがっているから行っているんだなと思いました。僕も20歳になったら青年海外協力隊の試験を受けてみようかな。そして、たくさんの人に日本のいろいろなことを伝えたいと思いました。

・パプア・ニューギニアと日本がどうして関わりを持ったのか不思議に思っていました。そのきっかけになったのが戦争だったと教えてくださいました。パプア・ニューギニアのことで面白いと思ったのは、横断歩道を1人でも渡っていると車は1台も動かないということです。それに、飲酒運転では捕まらないけどドアから手を出すと捕まるということです。私も一度行ってみたいと思いました。

【22～31 時間】 共に生きる人間として

これまで学習してきたことをもとに学習発表会を行う。この発表会は本校の校内研究の取り組みの一つで、下学年が上学年の発表を聞くことになっている。6年生は5年生にこれまで学習してきたことを伝えるということを課題とし、まず学年全体で話し合い、テーマを決めた。決まったテーマは次の通りである。

- 青年海外協力隊の働き
- 国際交流について
- 開発途上国について
- 平和と戦争について

○世界のいろいろな人種について

○世界の自然について

○世界のいろいろな病気について

これらのテーマから同じテーマを調べたいと思った者同士がグループになり、書籍やインターネットを使い、調べ、まとめ、発表会を行う。

● ● 成果と課題 ● ●

今回の実践を通して一番気をつけたことは、平和で豊かな日本に暮らし、開発途上国のことはもちろん諸外国のことをほとんど知らない子どもたちに、諸外国に対してマイナスのイメージを持つことがないようにすることであった。やはり、日本が一番いいという感想が多くあったのだが、これは、生まれ育ってきた日本を愛する(大切にする)気持ちから出たものではないかと考える。また、国際社会を生きていく日本人として、平和を願い、世界の人々と共に生きていくことの大切さは大いに学ぶことができたのではないかと思う。

今回、大原健治さんを始め、たくさんの方にお世話になり実践を進めてきたが、自分たちの周りにはたくさん国際協力に貢献している人がいるということ伝えることができたのではないかと思う。

当初の計画では、人権・福祉教育の面からも本テーマに迫る予定だったが、計画の遅れからできなかったのが反省としてあげられる。

■参加動機およびプロフィール

これまで「総合的な学習の時間」を利用し、開発途上国の社会・教育事情の諸問題を考え、一市民として何ができるのかを考える授業を行ってきました。実際に自分の目で見て諸外国の実状を体感し自分がどう思うのか、何ができるのか、どう授業実践に取り入れていくのかを考えてみたいと切に思うようになり今回応募しました。この研修では、多くの生活・文化の違いを体験し、特に教育施設への援助活動の視察を行うことにより、教育の大切さをもう一度考え直したいと思っています。

開発教育への取り組みとしては、開発教育協会の会員となり、研究集会や地域セミナーに参加し、開発をめぐる様々な問題を理解し、望ましい開発のあり方、共に生きることのできる社会作りを考えてきました。昨年度は教師仲間で作った研究グループ「国際理解の風を創る会」の主催で地域セミナーを開催しました。これらの集会やセミナーで体験した参加型学習の手法を学校での授業に取り入れています。



人・人・人

～見つけよう つなげよう 人の輪～

谷口康代 YAGUCHI YASUYO

静岡市立城北小学校

●実践教科 総合的な学習の時間

●時間数 55時間

●対象学年 5年 ●対象人数 124名

●●カリキュラム●●

実践の目的（テーマ設定の理由）

本校5年生の今年度の総合的な学習のテーマは「人・人・人 ～見つけよう つなげよう 人の輪～」である。子どもというのはまだ視野が狭く、自分と直接的な関わりが感じられる人・物・出来事しかつながりを感じられない。それはごく自然のことである。しかし、いま自分がここに存在し、生きることが生活することができるのは、数え切れないほどの人々や物事に支えられているからである。そして身近なことはもちろん、世界の全ての事象と関連があり、関わっていることもまた事実である。本校の5年生は、雰囲気の良い温かい子たちが多い。幸いなことに家庭環境が恵まれ、大切に育てられている子が大勢いる学年ということができる。だがその分周りが見えず、この多様な関係について気づいていないことも多い。この子たちにぜひ様々なつながりについて気づき、自分から主体的に関わりを持つと心をもっとほしいという願いから、上記のテーマを設定した。

授業のねらいと構成

総合的な学習を進めるときに、よく見られるのが「個人テーマを設定し、各々で追求していく」という形式である。しかし、始めから「好きなようにテーマを決めなさい」と言ってただ離しても、それは子どもの自主性や個性を尊重したことにならず、戸惑わせて

しまうことになりかねない。自分で調べを進めようとしてもすぐに行き詰ってしまうことが多い。また、最後に発表形式をとってもお互いに「すごいね」「ふうん」という感想で終わってしまいがちである。個人テーマの前にまず、共通の土台で子どもたち同士が練りあう場面を作ることが大変重要だと思う。十分に物の見方や視野を広げていくと、物事を追求する目が育ち、本質を見ようとする意識が高まってくる。そしてここまで多角的な見方や判断力を養った上で、初めて個人で離すべきなのではないだろうか。そのために教師側が、柱となる共通テーマや共通土台となる素材を選択・設定することは、決して子どもに対しての押し付けでも枠にはめることでもなく、必要不可欠な「段階」だと考えている。今年度は、身近な人々⇒同じ静岡市でも山に住む人々⇒日本と同じ先進国の人々⇒関わっている様々な国の人々・・・児童労働 ⇒ 視野の広がり ⇒ 個人テーマの設定・追求

という流れを組み立てた。また、総合的な学習だけでなく、社会・国語・音楽など他教科とも絡めながら子どもたちの見方を広げていくこととした。

今回の海外研修ではガーナに行かせていただいたわけだが、授業で取り上げる際にただの「ガーナ紹介」という単発のイベントで終わらせたくなかった。ガーナという国の何を見つめ、何を窓口として視野を広げるための流れの中に組み入れていくかに重点を置いた。

授業の構成

時限・テーマ・日数	方法・内容	使用教材
1～6時限 山に住む友達の様子は？	井川小学校の児童と手紙の交換	
7～10時限 山に住む人々と触れ合おう	井川自然教室に参加し、井川小学校の児童と交流し、井川本村の人々にインタビューを行う。	
11～14時限 外国に住む友達の様子は？（ALT訪問1回目 アメリカ・イギリス）	イギリスとアメリカ（日本と同様、先進国）の子どもの様子を想像する。その上で、ALTをゲストに迎え、話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの描いた両国のイメージ画・表など ALTの用意した写真・図など
15～16時限 新・貿易ゲーム	教材「新・貿易ゲーム」を活用し、ゲームを通して、世界の中での貿易の様子や異なる立場の人々の様子を体感し、学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 開発教育教材「新・貿易ゲーム」（制作：開発教育協会・神奈川県国際交流協会）
17～20時限 えびが森を食べる	世界から来る食材の中から、「えび」に注目。えびが養殖され、日本にやってくるまでの流れを通して、世界とのつながりを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 社会科資料集 2002（出版：文溪堂） 「地球はどこへいく？」（著・編：里美実出版：太郎次郎社） えびの消費量の図・生産地や工場の写真など
21～22時限 ガーナ＝チョコレート？	自己紹介ゲームを行った後、ガーナを切り口としたフォト・ランゲージを行う。ガーナのイメージと実際の産業や貿易と人々の生活をつなげていく。生活の中における児童労働についても触れる。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの描いたアフリカとガーナのイメージ図 教師海外研修で入手した写真・地図・品物等 同時期に写したオランダ・ネパール・日本の写真
23～24時限 パーム油って何だろう	児童労働と私達の生活とのつながりについて、パーム油（パームやし）を取り囲む様々な状況から学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 開発教育教材「パーム油のはなし～地球にやさしいってなんだろう？」（出版：開発教育協議会【現・開発教育協会】）
25～26時限 EGG異文化理解教室（静岡市国際交流協会後援のボランティア団体）	フィリピン・インドネシア・ペルー・タイからゲストを招き、それぞれの国における児童労働と私達の生活とのつながりを考える。	<ul style="list-style-type: none"> フィリピン、インドネシア、ペルー、タイに関連する品物、児童労働の写真、生活時間表
27～28時限 労働している子供たちと、私たち	新聞記事やビデオから得た情報と身近な生活との関係を探る。	<ul style="list-style-type: none"> 朝日小学生新聞 VTR「I am child!」（出版：ILO） VTR「サッカーボールと児童労働」（出版：ACE）
29～30時限 アパートで何がおこる？（ALT訪問2回目）	様々な背景を持つ人々と共に生きていくことにどう向かい合うかということについて、シミュレーションを通して考える。	<ul style="list-style-type: none"> マイノリティー体験のアクティビティ（作成：開発教育FUN CLUB）
31～32時限 わたしのせいじゃない	自分が生きていくことと自分以外の人がつながっているということについて絵本を通して考え、ウェビングで、より広いつながりに気付いたことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 「わたしのせいじゃない」（著：レイフ・クリスチャンソン 出版：岩波書店）
33～38時限 人テーマの設定～発表	個人テーマを設定し、実際にインタビューなどに取り組み、具体的な人とのつながりを体験しとめる。	



時間・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材・準備物
【64～65時間】世界がもし100人の村だったら	「世界がもし100人の村だったら」を通して、個人的なつながりと世界とのつながりを再認識する。	・「世界がもし100人の村だったら」(再話：池田香代子 対訳：ダグラス・スミス 出版：マガジンハウス) ・上記の本を元にしたアクティビティー(作成：開発教育協会 開発教育FUN CLUB)

● ● 授業の詳細 ● ●

☆私たちは、どんな人たちとつながっているのかな？

- ・友達・家族・親戚・学校の職員・民交さん・ベアの子・病院の先生など
- (身近な、直接的な関わりを持っている人々に限定されていた)

【1～6時間】「山に住む友達の様子は？」

…井川小の5、6年と交流

【7～10時間】「山に住む人々と触れ合おう」

(井川自然教室より)

…井川本村の人々にインタビュー

【11～14時間】「外国に住む友達の様子は？」

…(ALT訪問 1回目)

- ・アメリカ・イギリス(日本と同じ先進国)の子供のイメージは？
- ・イメージ発表会 → ALTに実際の話を聞く(似ている点・違う点)

【総合的な学習】

…アクティビティーを中心に体感を重視

【15～16時間】「新・貿易ゲーム」

…先進国、途上国などの国の立場に立ち、生産や輸出入、その関する取引などを体験する

- ・先進国・途上国のそれぞれの立場や思い、願い・言い分
- ・貿易の仕組み
- ・自国の利益のために、どのように工夫したか
- ・その弊害は？—環境問題など
- ・現代社会—「情報」の価値



【社会】

『工業生産をささえる貿易と運輸』

- ・工業地帯の運輸の密接な関係
- ・輸出品の変化—高い技術の工業製品を大量輸出
- ・輸入品の変化—工業製品・燃料・食料など、日常生活に大きく関わる
- (身の回りのものから探す)
- (食事のおかず・おやつの中から探す)



*途上国の大人と自分とのつながり

【17～20時間】「えびが森を食べる」

(資料集P41)『地球はどこへ行く？』

- ・貿易相手国は？
- ・日本の日常の豊かさ—その裏では？(途上国の様子)
- (大量消費生活)…安く手に入る
- ・日本人のえび好き→養殖が盛ん→マングローブの伐採・環境×
- ・地元の人には口には入らず、食生活悪化
- ・賃金の安さ(日給40円)→日本人の口に入りやすい(低価格)

【21～22時間】「ガーナ=チョコレート？」

①ブレインストーミング(自己紹介ゲーム)

- ・あまり話をしたことがない人と挨拶をし、生まれた日の曜日を聞く。
- (知らない子がほとんど…日本では血液型や星座をよく知っているが、ガーナでは曜日が大事で名前につける。国によって何に重きを置くかが違う。)
- ・自分が今持っているガーナのイメージ、アフリカのイメージ

③フォト・ランゲージ

(ガーナだと思う写真を選び出す)

・国内でのチョコの生産×

}	国がイギリスに支配されていた頃の名残
	チョコ生産工場はヨーロッパ独占 →
	自国の生産技術の不足

- ・カカオ生産は世界有数だが、地元の人の口に入らず(チョコ=贅沢品)
 - ・賃金の安さ
 - ・カカオの価格の低迷
- } 日本などの先進国が
} 安く輸入
- ・水を頭に載せ運んでいる子供たちの写真
→働いている子供たちの存在を知る。



④水を頭に載せる体験…大変な重労働

子どもたちはどんな暮らしをしているのだろうか？

*途上国の子どもと自分とのつながり

子どもの様子を写真・ビデオなどで知る

・遊び・学校での様子・水汲み・物売り・物乞い



貧困……子どもも大きな労働力・児童労働

②③より⇒実態を知る(ステレオタイプの見方だったことへの気づき)

【23~34時間】「パーム油って何だろう」

①私たちの生活とパーム油(実物、写真、クイズなど)

・パーム油を原料とした商品が自分たちの身の回りにたくさんあることに気づき、パーム油についての基礎的な知識を得る。

②パーム油と熱帯雨林(クイズ、表など)

・地球上で最も生物の多様性に富む場所であり、私たちに様々な恩恵を与えている熱帯雨林が、私たち先進国の暮らし(パーム油を含む)のために破壊・縮小されていることを認識する。

③『油ヤシ農園開発計画についての関係者会議』(ロールプレイ)

・グループ内で政府、洗剤メーカー、企業、先住民族の村長①②、環境保護団体の立場に立ち、農園開発についての話し合いをすることでそれぞれの

立場や思いを認識し、パーム油についての複雑な関係についても理解する。

④私たちの生活・ミーナの生活(生活時間表、タイムラインなど)

- ・自分の生活を振り返って気づいたことは…?
- ・将来のことや職業を書いてみると…?

⇒ミーナ(パームのプランテーション内の子供)の生活を見てみよう。

- ・「ミーナの一日」の紙芝居を見て、自分の生活時間表にミーナの生活時間を付け足す。
- ・疑問に思ったこと、感じたこと、気づいたことを話し合う。

⑤ミーナの暮らし(すごろくを使用)

- ・ミーナだけでなく、家族全員がずっと以前からこの生活を強いられことに気づき、その様子を知る。またどうしたらミーナがこの生活から抜け出せるかを考える。

⑥私たちとミーナたち(フローチャートの図を使用)

- ・先進国と途上国の間に横たわる問題を捉え、それを通してミーナと自分たちの生活がつながっていることを再確認する。

【35~36時間】EGG異文化理解教室

(フィリピン、インドネシア、ペルー、タイ)

①アイスブレイキング(〇〇国 ○×クイズ)

②〇〇国と日本、つながりってあるのかな?

・その国について知っていることを付箋に書き出し、グループで分類。

・分類した付箋の中から、日本とつながると思うものをピックアップ。

・その中から『品物』の部分を丸で囲む →実物、イラスト、写真コーナーへ行き、その国からきていると思われる物を選び出す。

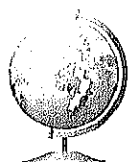
・外国人講師から正解発表&解説→自分たちとのつながりを認識

③ウェビング(「実はこの中には…」)

・それぞれの国の児童労働について概要説明

・児童労働の子と自分たちとの生活時間表を比較…当たり前とは?

・グループで探してきた『品物』の中に、児童労働



Ghana

と関係がありそうな品物をがあれば、その品物と自分たちと外国人講師とを紐で結ぶ。

[37~38時間] 「労働している子どもたちと、私たち」

- ・「朝日小学生新聞」の記事紹介
(インドの児童労働…サッカーボールを一日中縫い続ける。指の変形、劣悪な環境、低賃金、未就学など)
- ・タイ、インドネシアの子どもの様子を紹介
- ・「児童労働」のビデオを見る。

⇒私たちは生活の中で、ここで作られている品物を使っている可能性が高い。

日本に来ている品物の中には、児童労働によるものがあるかもしれないんだ。自分も児童労働と関わりがあるかもしれないんだね。(この児童たちの思いは…?)



[39~40時間] 「アパートで何が起ころ？」

… (ALT訪問 2回目)

アパート改築に際し、言語の違う模擬住民会議を通して、言葉や習慣の違う場へ行った時の疑似体験をする。

- ・マイノリティー側に立つ人々の思い、自分の意思が通らない時の思い…どうしてほしかったか、どうしたのか。
- ・その時、周りの多数の人たちはどう行動したか、どうすればよかったと思うか。
- ・ALTが来日した時に戸惑ったこと、その時の気持ちを聞く。

意見をいえる場の確保の大切さ、どんなに小さな声(意見)でも耳を傾けることの重要性

[41~42時間] 「わたしのせいじゃない」

泣いている男の子を前に、自分のせいではないと理由を言っていく子供たちを描いた絵本を見て…

- ・この状況を見てどう思うか。
- ・自分はこの中の誰にあたると思うか、そのわけは？

・今までの学習と合わせて考えると…?

「わたしのせいじゃない」——問題の原因は「自分には関係ない」という態度が生み出す

泣いている男の子=途上国、周りの子たち=先進国…?

☆身近な人々だけではなく、世界の人達ともつながっているんだね。

☆共に生きていく為に、私たちは何をしなければよいのだろうか？

- ・視野の広がり
- ・多角的なものの見方
- ・世界を「共同体」として見る見方



☆私たちは、どんな人たちとつながっているのかな？ (ウェビング)

⇒1学期の時に書いた図との比較

多くなっている・広がっている・深くなっている (確認)



[43~53時間] 個人テーマの設定~発表

- ・どのような関わりがあるのか
- ・自分はどのように関わっていききたいのか (個人で調べを進め、追求していく)

【国語】

【一秒が一年をこわす】

【ほたるのすむ水辺】

⇒『「子ども環境会議」を開こう』

← ・私たち人間の生活が環境に与える影響の重大さ、その急激に進む変化をつかむ。

・問題を一人一人が意識することの必要性を認識 (静岡市立井宮北小とテレビ会議)



追求・行動

- ・テーマと関係のある人たちと関わりを持ち、さらに深く追求していく
 - ・自分たちはどのように行動していけばよいのか…実践し、みんなに伝える・広める
- ➔ (パビリオン学習の形態で発表)

【国語】

- 『インタビュー名人になろう』
- 『伝え方を工夫して発信しよう』
- ・関係する人々へのインタビューの仕方
- ・相手に伝わる、届く発信の仕方

【社会】

- 『わたしたちの生活と環境』
- ・自分たちの生活、また現代の生活形態が環境に与える影響を知り、どのように改善していけばよいのか考える



【54～55時間】「世界がもし100人の村だったら」

現在の世界においての性別、言語、識字、貧富、その仕組みなどを、アクティビティーを通して再確認する。

身近な問題～世界の問題・人々は、すべて自分たちと関わっている（再確認）

◎他教科と総合とのつながり◎

【図工】『人・人・人 ～見つけよう つなげよう 人の輪～』

- ・自分自身をよく見つけ、木に彫りこんだ自分の顔を図工展で全員一緒に並べ、つながりを意識する。

【音楽】3部合唱『ふるさと』

- ・学校創立20周年にあたり、今までの多くの卒業生に支えられて、今自分がこの学校で学び、過ごすことができる（その人たちにとって、ここ城北小は心の故郷）——自分は多くの人々に支えられていること、つながっていることを感じながら、心を込めて歌う。

ポディーパーカッション『絆』

- ・「胎内に生命が宿る～誕生～幼少期～小学校低学

年～さまざまな人々とのつながりを意識した現在」までをリズムで表し、全員で心を合わせながら体のいろいろな部分をたたきながら表現する。

● ● **成果と課題** ● ●

「国際理解教育」と単独で考えると、イベントや「様々な国紹介」に終始し、かえって進めにくいし教師側も苦しくなると思う。他の教科（単元）や行事等を通し、この学年は何を学ぶのかを始めに押さえておくと、平行して総合でも柱を何にするべきかが見えてくるのではないだろうか。今回の総合は、あえて括るとするならば【国際理解教育+環境+情報】と3つの分野になるだろうか。しかし、実のところ私の中ではあまりこのような枠は設定されていない。そもそも、何を持って『国際』を『理解』する教育といえるのだろうか…。目の前の子どもたちの状況・発達段階を考えて、切り口や窓口を設定する。それらを通して、深く広く物事を見つめる目を育てていく…こうして、次世代の社会・世界を担っていく子供たちの目と心を耕すことが『様々な国や自分たちの関係』を『考え、どう行動していけばよいのか模索していく』教育につながるのだと思う。

ペルーの知り合いに、「異文化コミュニケーションを成功させるためには6つの段階がある」という話を聞いたことがある。その流れは以下の通りであった。

- ①まず知ること・気づくこと → ②その通りだと強く思う（同意） → ③やってみよう！と心に決める（決心） → ④実際に行う（行動） → ⑤その行動を続ける（継続） → ⑥周りへ広める

これは、総合的な学習を子供たちに進めさせる流れとしても十分対応できるものだと感じた。④の行動につながるためには②③の強い思いがないとできないし、その強い思いが生まれるためにはまず①の知ること・気づくことに長い時間をかけ、じっくりと焦らずにこの段階を進めることが重要になってくる。5年部の総合も、この流れに沿って今回は①に1・2学期を費やした。

また、「行動」というと子どもたちはすぐに「募金」「使用済みの切手やはがきの収集」という活動を起こ



Ghana

したがったが、「助けること=お金」という短絡的な考え方にはさせたくなかった。また、「募金するからお金をちょうだい」という、自分自身で汗を流さずに金銭を差し出す活動も、私は納得がいかなかった。子どもたちには「自分のなかで、『世界には様々な状況があり、自分も関係があるんだ』という意識を持ち続けること、またその事実を人に伝えることも立派な行動ではないだろうか。そのうえで、『やはり、何とか困っている人を助けたい』という気持ちが高まり、その方法を悩みながら模索して行き着いた結果が募金やはがき収集であれば、私は喜んで協力するよ」…このように話した。結局、どうしても助けたいということではがき収集を3人の子が活動し始めたが、この「悩む」という過程を経て苦勞を重ねて収集したものこそ、本当の意味で「援助」として価値のあるものだと思う。

今回、教師海外研修に参加させていただき、ガー

ナの現状を直に見ることができた。ガーナの持っているすばらしい面、途上国といわれる面、それらすべてがこの国の本当の姿だ。ガーナで出会った子供たちや数え切れないほどの人々…もう二度と会うことはないかもしれない。しかし、今回の一連の授業を通し、イメージに固執して物事を見ることをやめること、「途上国の人ってかわいそう」「日本に生まれてよかった」という見下したような一方的なベクトルの見方から、「どうしたらみんなと一緒に、幸せに生きていくことができるのだろうか」という対等で真剣な見方に変化させること…そして行動に移そうとする子供たちを一人でも多く育んでいくことが、お世話になった方々や現地の方への恩返しだと思っている。

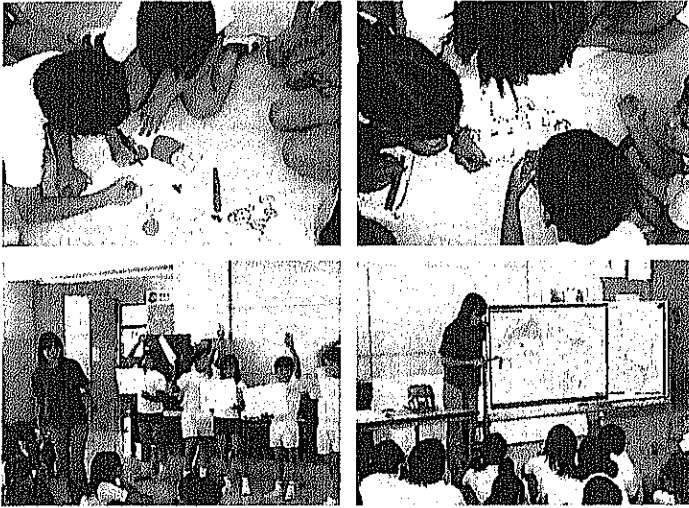
最後にJICAの職員の皆様、現地で援助に携わっていらっしゃる皆様に心よりお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

資料 ① 15～16時限「新・貿易ゲーム」



資料 2) 21~22時限「ガーナ=チョコレート？」

②自分が今もっているガーナのイメージ、アフリカのイメージ。



③フォトランゲージ（ガーナだと思ふ写真は…？）



④水を頭に載せ、運ぶ体験（大変な重労働）



「ガーナ=チョコレート？」
5年 総合的な学習

()月()日 ()番 ()

1. 今日、私が気づいたことは、

自分の見は、当たり前のようにチョコレートとかを食べているけど、ガーナの人はずっとチョコレートは「高級品」として食べる事ができないから、その国々ではチョコレートが国ではあつたことではないと気づいた。

2. 知ったことは、

みんな、チョコレートというイメージがある、ガーナの人、みんなチョコレートを食べるのだから、チョコレートは高級品で、あまり食べられないこと知りました。あと、その子と私と同じの子も働いていることも知りました。

3. 疑問に思ったことは、

何で5、6歳の子とか小さい子も働らかなきゃいけないのかと疑問に思いました。

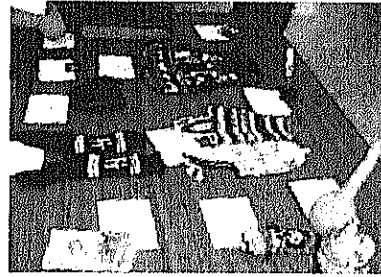
4. 感想

私は、その設計を助けるために、みんなの子とか小さい子が働いていくことが、悪いものを、助けるに、していつも働いていて、すごく良かったです。

ワークシート

資料 4) 35~36時限 EGG異文化理解教室(フィリピン、インドネシア、ペルー、タイの4カ国出身の人を招いた授業)

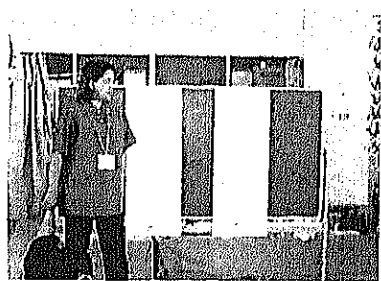
②〇〇国と日本、つながりってあるのかな?



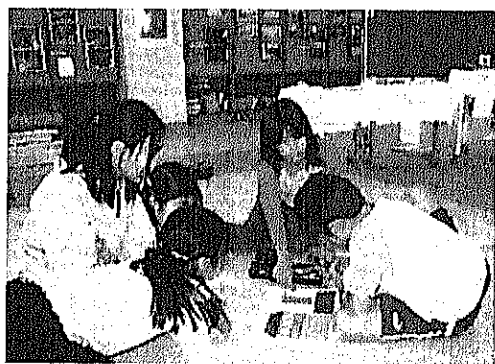
③ウェイピング
それぞれの国の児童労働について説明

その国で働いている子、学校に行ける子、
そして私たちとの生活時間を較べる

みんな、つながっているね。



資料 5) 39~40時限「アパートの中で何が起ころ?」…ALT訪問2回目(マイノリティー側に立つ人の思いは…?)



総合的な学習 ~アパートの中で何が起ころ?~
5年(2)組()番()

*移動した時でどんなことを思いましたか?またどんな様子でしたか?
移動した時、色の言葉がわからなくてびっくり
しました。それで、色かたがわからずまじまじと
見ました。それで、言いかけてしまいました。
*その時自分にしてほしかったことはどんなことですか?
言葉がわからなくて、ちゃんと話してほしかった。
また、色をわかりやすくして、やり直してほしかった。

*違う国の人が自分の国に来たとき、自分はどんなことをしましたか?
また、どんなことをあげればよかったですか?
言葉がわからなくて私はまじまじと見るのをやめて、
教えてあげても、お返えに言葉がわからない
とわかって、ちゃんと聞いてあげればよかったなと思いはした。

*ロバートさんの話を聞いて
薬をまちがえてそれがどどくたたり、あんなにもの
にたたりするの、すくなくわいなと思いはした。

*今までの総合の授業で、私たちはさまざまな人とつながっていることを知りましたね。
いろいろな人たちのつながりの中でどんなことを心がけていこうと思いはしますか?
これからほどう国の人のできないことを
いつかみんなめいやることを心かけてい
たいと思いはしました。だから、1日1日を大切に
しないように思いはします。



Ghana

資料 41~42時限「わたしのせいじゃない」私たちはどんな人たちとつながっているのかな？(ウェビング)

1学期はこれだけのつながりしか書けなかったけど...

こんなに見方が広がったことに

総合的な学習
人とのつながり(ウェビング) (1番)

城北台
人・人・人 一見はう・つながり・人の輪

①テーマについて 5の2 名前()
しげ、自分がどんな人とかわっているか 見つけよう

今考えてみると世界の人、物も自分でつながっていると思えました。それから食べ物や物とつながる物を作る場所、産地をたどる土地も自分でつながっていることに気づきました。

資料 43~53時限 個人テーマの設定

(個人テーマを追求の途中で、自分の考えを書いた)

総合的な学習 (1番)

<今の時点での私の見解>

僕は今まで「児童労働」という言葉さえしなかった。ただとある日、総合的な学習で「パーム油」という言葉が出てきた。もちろんパーム油なんて言葉はしなかった。そしてパーム油から児童労働に入ってきた。児童労働のことを知るとき、始めはなんともなかったけれど、教員が書いてある中で「児童労働は、児童に有害である。日本(先進国)では、カーボールは遊ぶためのものだけ。インドやバングラデシュでは、自分で生活していくためのものだったんです。」の最後、さらにインドでは「カーボール 1個20円、1日2個(40円)、インドでは、40円で買えるものはミルクパンくらいらしい。日本の子供は親の給料で買えるけれど、インドでは毎日働いて、1日3個のパンしか買えない。そう思うとインドやバングラデシュの子供はほんとに可哀想だ。さらに物販も、子供は危険と知り合わせに働いている。この児童労働を調べてきて僕はこう思った。こんなに先進国と途上国に差があるのかと思った。日本では学校でいろいろな計算を教えられる。だけどインドの人は、教えられるものは、カーボールの作りかたに、インドの生活に合った考えを聞いて、相手が答えられないと思えば、日本では1日1個しか買えない子供はたくさんいると思う。

今まで調べたことだけでは、僕は足りないと思う。インターネットで調べられたい事は、産地電話で聞くか、FAXを送るかメールを送りたいと思う。

今はまだ、疑問も持っているのはどうしてこんなに先進国と途上国に差があるのか。

先進国と途上国の差が、なぜこんなにもあるのか。調べてみたい。途上国と途上国の差が、なぜこんなにもあるのか。調べてみたい。

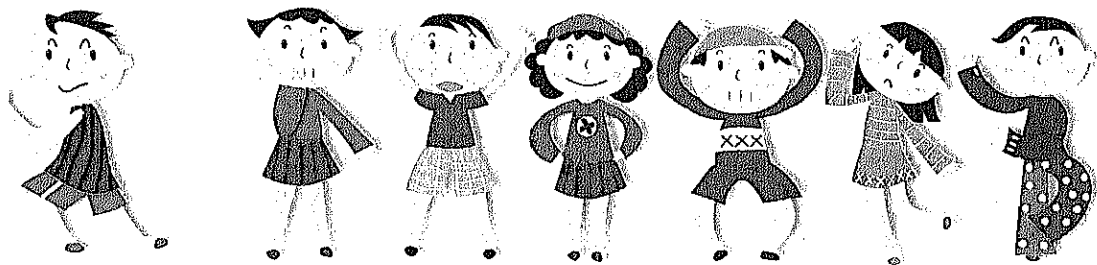
パビリオン学習の形で、自分の調べたことや考えを発表（周りへ広める）



■参加動機およびプロフィール

父の仕事の関係で当時内戦状態だったレバノンで過ごした幼い頃の体験や思いが、異文化理解教育や開発教育を推進させる現在の私の原動力となっています。開発教育を進める上では、途上国に住む人々の本当の願いや思いを知ることが必要であり、実状を子供達に伝えていくことで「知る・気づく」ことから「自分達はどのように行動したらよいのか」と主体的に動いていく段階まで心を耕やすことが大切だと考えています。今回の研修は現地の実状を自分の目で確かめられる非常に良い機会だと思い応募しました。校内では国際理解教育を担当し、「英語教育＝国際理解教育」ではなく、また途上国の問題のみならず、全ての教科や機会を通し、相手の価値観や文化・考え方を受け止め、認め合うことが人として生きていく上で大切な「共生」の意識を根付かせることにつながると考えて本教育を推進しています。個人では開発教育を研修する団体に所属しており、定期的に勉強会に参加しています。

參考資料

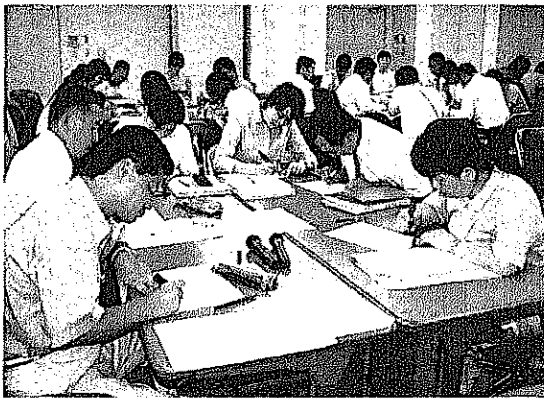




事前研修

国内機関研修

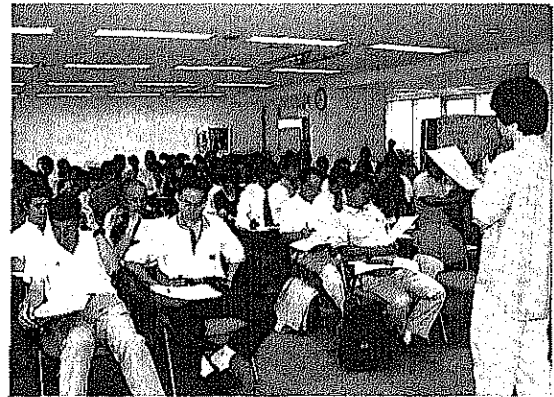
実施時期：平成14年7月
実施場所：JICA各国内機関
研修内容：開発途上国の現状と課題
ODAとJICAについて



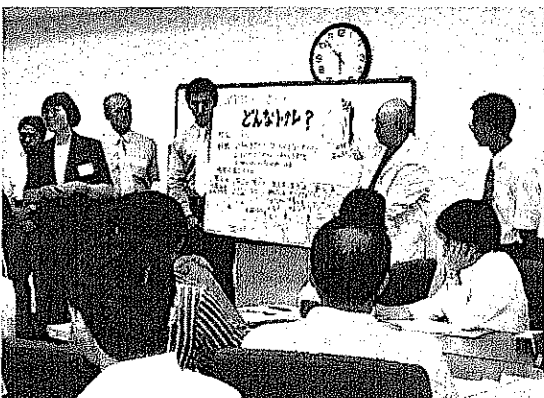
全国から集結した熱意ある先生方。小学校、中学校、高校の枠を越え、意見交換。名刺づくりに取り組み中。

東京研修

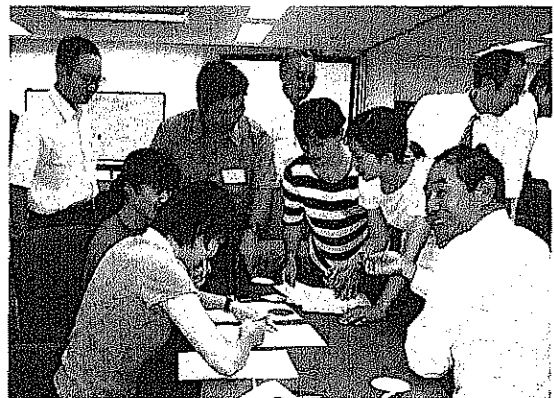
実施時期：平成14年7月29日(月)～30日(火)
実施場所：JICA東京国際センター (TIC)



「開発教育」その歴史と実践について全体講読中。



海外研修をいかに「授業」で還元できるか?!
授業案づくりとその発表、企画からプレゼンテーションまで、力が入ります。



工作?いえいえ、世界の“富”の流れを体験・体感しているのです。
～貿易ゲームの実践より～

東京研修日程

7月29日(月) 参加者同士の親睦を図り、且つ、お互いの状況を理解しながら、問題意識・課題の共有を図ることを目的とする。

第1日目

13:00~	受付開始	TIC本館ロビー
14:00~14:30	開会 1. 主催者挨拶 国際協力機構 国内事業部長 漢 芳郎 TIC施設説明 TIC特別業務室 湯本 真知子 2. 同行者紹介 3. 事前研修予定説明	オリエンテーションルーム (本館4階)
14:30~15:10	自己紹介 (*2部屋×6グループに分かれて実施)	セミナールームA・B 多目的ホール
15:20~	テーマ別ディスカッション ・教科や学校で抱えている問題を出し合い、関心のあるテーマについて話し合いながら、模擬授業案を作成する。 ・小学校・中学校・高校教師を混在させた形で全体を7~8名×12グループ、2部屋に分かれて討議する。	セミナールームA・B (別館2階) 多目的ホール(別館1階)
17:20~17:30	休憩	
17:30~18:20	テーマ別ディスカッション発表 ・6グループずつ(各部屋ごと)の中で発表しあう。	セミナールームA・B 多目的ホール(別館1階)
18:30~	事例発表 横浜市立横浜商業高等学校の取り組み 講師:小市 聡教諭(平成13年度高校教師海外研修ベトナムコース参加者)	オリエンテーションルーム (本館4階)
19:15~19:30	派遣国別自己紹介	

7月30日(火) 午前は開発教育を実践するための具体的な手法を学び、午後は海外での研修を、より実りの多いものとするため、渡航の準備や現地での状況把握を行うことを目的とする。

第2日目

8:50~10:15 (パート1) 10:15~11:45 (パート2)	開発教育アクティビティの紹介 ・異文化やコミュニケーションについて扱ったアクティビティを実践しながら紹介する。 講師:湯本浩之氏(開発教育協会) 中村絵乃氏(開発教育協会)	セミナールームA・B (別館2階) 多目的ホール(別館1階)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1班</th> <th>第2班</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パート1</td> <td>「新貿易ゲーム」</td> <td>「バーンガ」</td> </tr> <tr> <td>パート2</td> <td>「バーンガ」</td> <td>「新貿易ゲーム」</td> </tr> </tbody> </table>		第1班	第2班	パート1	「新貿易ゲーム」	「バーンガ」	パート2	「バーンガ」	「新貿易ゲーム」	
	第1班	第2班									
パート1	「新貿易ゲーム」	「バーンガ」									
パート2	「バーンガ」	「新貿易ゲーム」									
11:45~12:00	休憩										
12:00~	開発教育概論 講師:湯本浩之氏(開発教育協会) ・開発教育の考え方、総合的な学習の時間への導入などについての動きを整理する。 実践報告書(教材集)作成にあたってのポイント	多目的ホール									
12:40~	昼食	食堂または各自									
13:40~	教材集の作成について 国内連携促進課 鈴木 幸枝 ・研修報告書の作成と提出に関する説明 ・実践報告書(教材集)の趣旨説明と、提出方法について	多目的ホール									
14:15~	休憩										
14:30~	コース別打ち合わせ JICA同行者を中心に、現地での視察の目的、ねらい、訪問先での対応等について話し合う。	セミナールームA セミナールーム12 セミナールーム13 セミナールーム15									
15:45~	渡航手続等説明 各旅行代理店より ・パスポート他関係書類の取扱いと、提出方法についての説明	多目的ホール セミナールームB 多目的ホール 多目的ホール									
16:30~	休憩、荷物整理等										
18:00~20:00	結団式	体育館									



コース別日程／参加者氏名

ラオス Lao

日付	曜日	時間	内容	宿泊地
8月 5日	月	9:30 11:00 14:00 15:00 16:30	ヴィエンチャン到着 (TG690) JICA事務所訪問/事業概要説明 昼食 教育省表敬 (Mr. Ouam, Director of General Education) 日本語補修校訪問 在ラオス日本大使館表敬	ヴィエンチャン
8月 6日	火	8:00 10:30 12:00 15:00 16:30	ホテル発 森林保全復旧計画 (FORCAP) サイト見学 (プロ技) 昼食 (at FORCAP) ~ 13:00 ヴィエンチャン県農業農村開発計画 (VARDP) サイト見学 (プロ技) ナブイ村 (VARDEPモデル村)	ヴィエンチャン
8月 7日	水	9:30 13:30	セタティラート病院訪問 (無償資金協力/プロ技) 昼食 ワッタイ空港及び管制塔見学 (無償資金協力/専門家派遣)	ヴィエンチャン
8月 8日	木	8:45 9:00 10:00 13:00 14:00 15:30 17:00 18:30	ラオス青年同盟 表敬 // (青木SV/合気道) チナイモ浄水場 訪問 (中村SV/水質検査) 昼食 ラオス国立大学経済経営学部 /日本センター見学 (無償資金協力/プロ技) 発表会準備 発表会及び終了証書授与~16:30 ホテル着 懇親会	ヴィエンチャン
8月 9日	金	8:50 9:10 10:20 11:30 14:00	ホテル発 空港 (国内線) チェックイン QV101(ATR)ヴィエンチャン→11:00/ルアンプラバン (世界遺産指定都市) ホテル着 (ブーシー) 昼食 (12:00~13:30) 農業学校訪問 (西JOCV) ~15:00 (free)	ルアンプラバン
8月10日	土	9:30	王宮博物館訪問 (川島JOCV) ~10:30 昼食 PM 市内見学 (ルアンプラバン)	ルアンプラバン
8月11日	日	13:15 14:35	ホテル発 (free) 昼食 (11:30~12:30) 空港チェックイン QV645(ATR)ルアンプラバン→15:15/ヴィエンチャン 市内見学 (ヴィエンチャン)	ヴィエンチャン
8月12日	月	9:00 12:00 14:00	国営ラジオ局訪問 (福井SV) ~10:30 昼食 (NAMNGLUM Restrant:020-513521) ~13:30 ナムグムダム訪問 (リハビリ無償/専門家派遣) JICA事務所報告/意見交換(懇親会)	ヴィエンチャン
8月13日	火	9:00 10:30	ホテル発 ヴィエンチャン発 (TG691)	

*7, 8日はラオスの小学生が合流。

氏名	所属学校名	氏名	所属学校名
福岡 翼	北海道札幌市立あやめ野小学校	豊島正一郎	福島県山都町立山都第二小学校
大畑 秀樹	北海道札幌市立太平小学校	板垣 圭一	茨城県千代田町立下稲吉小学校
田中 善久	北海道音更町立駒場小学校	清水 篤史	埼玉県富士見市立水谷東小学校
長岡 悟司	山形県河北町立谷地中部小学校	矢島 一彦	東京都八王子市立第十小学校
神 真澄	青森県青森市立原別小学校	齋藤 和紗	学校法人桐蔭学園小学部

●同行者 黒崎直幸(国際協力機構 経理会計2課)

色々国を旅する事は出来るが、日本(JICA)が行っている国際協力の実際を詳しく研修できるという点でこの研修は大変有意義であったように感じる。研修ではサイトや施設の見学が多く、自分の研修目的とそぐわない場所もあるが、実際に行ってみると今までの価値観が変わってしまう事があった。

札幌市立あやめ野小学校 福岡翼

地域住民が自立した生活を送るためにはどの様な協力が必要かという事をよく考え、住民との対話を繰り返しながら、日本人スタッフが慎重に活動を進めている様子がよくわかった。援助とは与えるものではなく、互いに作り上げて行くものだという認識を持つことが出来た良い機会となった。

札幌市立太平小学校 大畑秀樹

視察研修に行く前はダム、病院の建設、機械の操作などの支援ばかりだと思っていたのですが、農村環境改善計画や森林保全、そして合気道に至るまで、「日本からこんな支援、技術指導もしているんだ」と改めてJICAの協力活動の幅の広さに驚きました。

音更町立駒場小学校 田中善久

日本は色々な面で行き詰まりを見せており、自らの足元をしっかりと見つけ、日本人のアイデンティティや存在感を確かめるべきだと考えるので、開発途上国の視察は私にとって有意義だった。また、学校教員の海外研小学校にも広げた事は国際理解教育の質的な転換につながるきっかけを与えるものと確信

する。

河北町立谷地中部小学校 長岡悟司

水、病院、農業、工芸、自然・文化遺産保護等、人が生活していく時に必要なもの、潤いを与えてくれるもの等全てに手が差し伸べられているのには驚かされた。そしてあくまでも支援でラオスの人々がやがて自立の道筋をつけるだけであるという姿勢には、教育の原点を見る思いであった。

青森市立原別小学校 神真澄

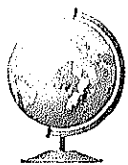
人と人、人間を中心に据えた社会開発が大切で、ラオスの人々とJICAのスタッフの方々の人間関係が良好である事に好感を持ちました。私は初めての海外で外国人を自分勝手にイメージ化していましたが、同じ人間として、とても身近に感じ、一人一人がとても遅しく思いました。

山都町立山都第二小学校 豊島正一郎

理想的な「国際協力」のあり方は住民主体の活動支援だろうが、現実はとてもそんな事を言える状況ではない事も多いはず。「あなたの国に今必要な事を一緒に考えましょう」そんな暢気な事を言っている状況ではない国も多いだろうし、ラオスもそんな国の一つだったように思う。

千代田町立稲吉小学校 板垣圭一

何かと批判の対象にされるODAだが、実際に現場で努力されている方の姿を見ると安易な考えで批判し



参考資料

てはいけないと強く感じた。なぜ援助が必要なのか、そこに至るまでの経緯、現場の人々の活動の様子を知らせていく必要があるのではないかと思う。今回訪れたプロジェクトサイトは全て成功例だったように思う。かつて思うように支援が進まず撤退した例は無いのだろうか。失敗から学ぶ事も多くあるかと思う。

富士見市立水谷東小学校 清水篤史

「はじめは誰でもラオスを好きになる。少し暮らすと、ここはいい、ここはおかしいと考え出す。それを乗り越えようと本物で、本当にラオスが好きになる。」この言葉を聞いて、自分は「誰でも好きになる段階」であることを知りました。しかし、10日余りで、いくつかの事実を知ることができたことは確かです。日本でもう一度「ラオス」を見つめ直そうと思います。

八王子市立第十小学校 矢島一彦

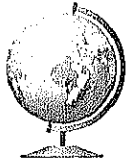
プロジェクトの対象になった村や人はPRAの効果でプロジェクト終了後の持続の可能性は高い。しかしプロジェクト対象にならなかった村に、対象になった人達が技術を伝承する事は極めて難しいのではないかと感じた。ごく一部の人が援助の恩恵を受け、その他の大勢の人達は受ける事が出来ないという現状でよいのだろうかという疑問である。

桐蔭学園小学部 齋藤和紗

コース別日程／参加者氏名

ガーナ Ghana

月日	日	時間	備 考	電 報 掛
8月 1日	木	19:25 20:30	アクラ着 (KL589) ホテルチェックイン 日程等フリーフィンク	アクラ
8月 2日	金	8:30 10:00 11:00 12:00 13:00 18:00	JICA事務所訪問 日本大使館表敬 教育省表敬 昼食 アクラ発ケーブ・コースト方面へ ブスア着	ブスア
8月 3日	土	9:30 17:00	エクイエ村訪問 セントマーチンデボレス病院/病院視察 隊員活動視察 渡辺 英一隊員 (12/3、診療放射線技師) 河村 智子隊員 (13/2、薬剤師) 小学校見学、一般家庭訪問など アンコブラ着	アンコブラ
8月 4日	日	9:00 12:00 16:00	マングローブ植生視察 アンコブラ川下り アンコブラからエルミナへ エルミナ城視察	エルミナ
8月 5日	月	9:30 14:00 15:00 16:00	カクムナショナルパーク視察 JICAプロジェクト視察 灌漑小規模農業振興プロジェクト (オチェレコ) オチェレコ村農場、小学校、診療所視察 オチェレコからアクラへ	アクラ
8月 6日	火	9:00 9:30 14:30 16:00	北アクアピン郡教育事務所表敬 北アクアピン郡中学校訪問 JICAプロジェクト視察 小中学校理数科教育改善プロジェクト テテクワシ・カカオ農園見学	アクロボン
8月 7日	水	9:00 15:30	ガーナ教員との意見交換会プログラム (自己紹介・学校紹介、教授法紹介・ディスカッション他) コフォリデュアへ移動	コフォリデュア
8月 8日	木	7:00 8:00 10:00 15:30 20:00	ピース市場視察 (教材収集) コフォリデュアからニューアプリムへ移動 開発福祉支援事業視察 (ビルム・ノース郡事務所) 家族計画・栄養改善・寄生虫予防総合プロジェクト ニューアプリムからアクラへ移動 報告会及び懇談会 (日本大使館・JICA事務所・プロジェクト専門家・ 青年海外協力隊)	アクラ
8月 9日	金	10:30 11:30 21:20	コレブ病院 野口英世実験室 資料収集 出発準備 アクラ発 (KL590)	機内
8月10日	土	6:15 14:40	アムステルダム着 アムステルダム発 (KL859)	機内
8月11日	日	9:00	関西空港着 解散	



参考資料

氏名	所属学校名	氏名	所属学校名
やくち やすよ 谷口 康代	静岡県静岡市立城北小学校	よしおか えいざく 吉岡 栄作	高知県窪川町立窪川小学校
やべ ゆたか 矢部 浩	大阪府大阪市立中津小学校	うえのしゅんざぶろう 上野順三郎	福岡県北九州市立小倉中央小学校
いのうえ ひろし 井上 洋	大阪府箕面市立豊川南小学校	むらかみ こういち 村上 浩一	熊本県熊本市立出水南小学校
こいけ ちかし 小池 周	広島県東広島市立平岩小学校		

●同行者 半澤みちる(JICA大阪 総務課)

今行っていることが果たして正しいのか、既に行動しているのに、このことを考えることは現地で協力している方々にとって非常に苦しいことだ。またあまりにも突き詰めて考えていると援助が後手後手になり、大切な「行動」に移れなくなって本来転倒となる。現地で汗を流している方だけではなく、我々国民も政府も一緒になって考え、悩んでいく必要がある。

静岡市立城北小学校 谷口康代

知識や技術も最終的には人と人の温かいつながりのなかで生かされるものではないかと、隊員の方や現地の方との交流を見て考えた。また、隊員の活動をサポートする調整員の方の役割についても知ることができた。様々な現場での、日本のODAの在り方について触れ、学ぶことができた。

大阪府立中津小学校 矢部浩

現金収入を上げる必要から米作を進めたり、貧困から脱する手段として1夫婦当たりの出産数を減らすよう指導したりしていた。これらは、開発途上の国々が抱える深刻な問題を解決する上で、極めて有効であり、重要手段であると思われる。しかし、開発途上国が物資・現金の面で富と引き換えに、これまで築き上げてきた文化を簡単に切り捨てて行く様にも見えた。そして、われわれ先進国と呼ばれる国々が、その手伝いをしているようにも見え、複雑な思いがした。

箕面市立豊川南小学校 井上洋

最も印象的であったのは、日本の支援がハード面だ

けでなく、ソフト面でも着実に行われていることでした。また、一人一人の協力隊員が現地にとけ込む努力をしながら、日本を代表する一人として、地道に活動している姿にも大きな感銘を受けました。

東広島市立平岩小学校 小池周

協力隊員の活動視察の際、本当に隊員が現地にとけ込んでいる。現地の人を愛している。一緒に暮らしている。仕事とはいえ、一番に村の人のことを考えて活動していると感じた。これこそが本当の国際協力の姿ではないかと思えた。

窪川町立窪川小学校 吉岡栄作

JICAの協力隊・専門家の人々がガーナの人々の中に入り込み、人々に受け入れられていることが分かり、このガーナにおける協力活動はうまく行っていると思った。また、協力隊のひとは、村の人々にどこに行っても声をかけられ、愛されていることがわかり、協力の本当の姿をみることができた。ガーナで見たいろいろな風景は、多くの面で日本とはかなり異なっていた。

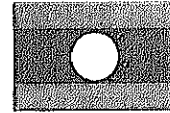
北九州市立小倉中央小学校 上野順三郎

隊員や専門の方々、そして現地の人々の生き生きとした「目」が印象的であった。JICAプロジェクトの成功を物語っているのではないかと思った。その一方で、理数科プロジェクトでは、やはり何と言っても資金面だなーと思った。磁石一つない状態で、どんなことが可能なのだろうかとつくづく考え込んでしまった。

熊本市立出水南小学校 村上浩一

訪問国概要

ラオス (Lao People's Democratic Republic)



1. 概要

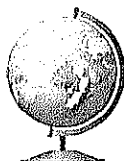
面積	24万km ²
人口	537.7万人 (2001年)
首都	ビエンチャン
人種	低地ラオ族 (60%)、その他約60数種族
言語	ラオス語
宗教	仏教

2. 経済 (単位:米ドル)

主要産業	農業、林業木材加工及び水力発電
GDP	1,813百万ドル (2001年)
一人当りGDP	329ドル (2001年)
経済成長率	5.7% (2001年)
物価上昇率	7.5% (2001年) (前年度同月比)
失業率	不明
総貿易額	(1) 輸出 393百万ドル (2) 輸入 591百万
主要貿易品目	(1) 輸出 電力、木材、縫製品、コーヒー (2) 輸入 燃料、日用品、繊維原料
貿易相手国	タイ、ベトナム、中国、日本
通貨	キープ (Kip)
為替レート	1ドル=10,920キープ (2002年10月現在)
経済関係	(1) 75年以來の計画経済が行き詰まり、86年に「新経済メカニズム」とよばれる経済改革に着手、銀行制度、税制、外国投資法の制定、国営企業の民営化等幅広い分野での措置を通じ、市場経済の導入、開放経済政策を推進中。 (2) アジア経済危機の際、国内マクロ経済運営のまずさから、高率のインフレ及び為替レートの下落到直面。現在は緩やかな回復基調。 (3) 第7回党大会 (2001年) において2020年までのLLDC脱却、国民生活水準3倍増等を目指した長期目標を策定。 (4) 外国投資の促進 (94年6月投資法改正)。

3. 経済協力

我が国の援助実績	(1) 有償資金協力 90.93億円 (2) 無償資金協力 811.16億円 (2000年度68.66億円) (3) 技術協力 247.33億円 (2000年度34.89億円)
DAC内主要援助国	(1) 日本 (2) 独 (3) スウェーデン (4) 仏 (5) 豪州



ガーナ (Republic of Ghana)



1. 概要

面積	238,537km ² (日本の約3分の2)
人口	約1,970万人 (2001年世銀アトラス)
首都	アクラ 約184万人 (2000年: EIU レポート)
人種	アカン族、ガ族、エベ族、ダゴンバ族、マンブリン族他
言語	英語 (公用語)
宗教	国民の約半数がキリスト教徒、イスラム教約15%、その他伝統的宗教

2. 経済 (単位: 米ドル)

主要産業	農業 (カカオ豆)、鉱業 (貴金属、非鉄金属)
GNI	50.7億米ドル (世銀: 2001年)
一人当たりGNI	290米ドル ()
経済成長率	3.7% (2000年)、4.0% (2001年) (IMF)
物価上昇率	21.3% (2001年末)、15.2% (2002年末) (政府)
失業率	不明
総貿易額 (98年)	(1) 輸出 20.6億ドル (2) 輸入 27.1億ドル
主要貿易品目	(1) 輸出 金、カカオ豆、木材 (2) 輸入 石油、自動車、食料品
貿易相手国 (2000年/IMF)	(1) 輸出 金、カカオ豆、木材 (2) 輸入 石油、自動車、食料品
通貨	セディ
為替レート	1ドル=8,600セディ (2003年7月現在)
経済関係	ガーナ経済は農業・鉱業等に依存する典型的な一次産品依存型でありカカオ、金が主な輸出品となっているため国際貿易の影響を受けやすい環境にある。1983年以降、構造調整を実施して経済の再建に取り組んだ結果、1980年代後半から平均5%のGDP成長率を達成し、サブ・サハラ・アフリカにおける構造調整の優等生として評価されてきた。一方近年は金やカカオの国際価格の低迷、主要輸入品である原油価格の高騰等により経済は厳しい状況となった。クフォー政権はこのような経済状況の悪化を踏まえ、2001年3月、拡大HIPCイニシアティブ適用による債務救済申請を行う政策転換を行い、経済の再建に向けた努力を行っている。

3. 経済協力

我が国の援助実績 (億円)	(1) 有償資金協力 (2000年度まで、交換公文ベース) 1,259.91 (2) 無償資金協力 (2000年度まで、交換公文ベース) 606.64 (3) 技術協力 (2000年度まで、JICA経費実績ベース) 316.68
DAC内主要援助国	(1) オランダ (114.2) (2) 英国 (97.8) (3) 米 (53.5) (4) デンマーク (39.7) (5) 日本 (34.6)

開発教育関係団体及び教材紹介

開発教育や開発問題について、もっと詳しく知りたい方々のために、開発教育を実施している団体や、役立ちそうな教材／素材をリストアップしてみました。JICA刊行のものは、国内機関にお問い合わせください。

開発教育関係団体 ①セミナー開催 ②講師の派遣 ③資料の収集・開発・提供 ④スタディー・ツアー ⑤機関誌の刊行 ⑥その他

(特活)国際協力NGOセンター (JANIC)

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町2-9-1
斉藤ビル5階
TEL 03(3294)5370
FAX 03(3294)5398
URL
<http://www.janic.org/>
①～③、⑤、
⑥NGO市民情報センター

(特活)名古屋NGOセンター

〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南1-20-11
NPOプラザ3階北
TEL 052(588)3680
FAX 052(588)3680
URL <http://www.sf21npo.gr.jp/~ngo/>
①～⑤

(特活)関西NGO協議会

〒530-0013
大阪府大阪市北区茶屋町2-30
TEL 06(6377)5144
FAX 06(6377)5148
URL <http://park15.wakwak.com/~knc/>
①～③、⑤、
⑥関西NGO大学

(特活)開発教育協会

〒112-0002
東京都文京区小石川2-17-41 3階
TEL 03(5844)3630
FAX 03(3818)5940
URL <http://www.dear.or.jp/>
①～③、⑤、
⑥開発教育情報センター

(特活)国際理解教育センター (ERIC)

〒114-0013
東京都北区東田端1-14-1
岩瀬ビル
TEL 03(3800)9415
FAX 03(3800)9414
URL <http://www.try-net.or.jp/~eric-net/>
①～⑤、
⑥施設利用、カリキュラム開発など

(特活)シャプラニール=市民による海外協力の会

〒169-8611
東京都新宿区西早稲田2-3-1
早稲田奉仕園内
TEL 03(3202)7863
FAX 03(3202)4593
URL <http://www.shaplaneer.org/>
①～⑥、⑧バングラデシュ・ネパールの手工芸品輸入販売

(社)シャンティ国際ボランティア会 (SVA)

〒160-0015
東京都新宿区大塚町31
慈母会館2・3F
TEL 03(5360)1233
FAX 03(5360)1220
URL <http://www.jca.apc.org/sva/>
①～⑤、⑥図書館

(財)国際協力推進協会 (APIC)

〒112-0012
東京都文京区大塚5-3-13
小石川アーバンビル8F
TEL 03(3947)2491
FAX 03(3947)4491
URL <http://www.apic.or.jp/plaza/>
①～③、
⑥国際協力プラザ

(社)協力隊を育てる会

〒160-0013
東京都新宿区霞岳15
日本青年館内
TEL 03(3402)2153
FAX 03(3402)3263
①～③、⑤、
⑥小さなハートプロジェクト
URL <http://www.sojocv.or.jp/>

(社)青年海外協力協会

〒150-0012
東京都渋谷区広尾4-2-24
広尾訓練研修センター内
TEL 03(3406)9151
FAX 03(3406)9160
URL <http://www.joca.or.jp/>
①～③、⑤

(財)日本ユニセフ協会 (ユニセフ日本委員会)

〒108-8607
東京都港区高輪4-6-12
ユニセフハウス
TEL 03(5789)2013
FAX 03(5789)2033
URL <http://www.unicef.or.jp/>
①～③、
⑥図書館

(社)日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1-3-1
朝日生命恵比寿ビル12階
TEL 03(5424)1121
FAX 03(5424)1126
URL <http://www.unesco.or.jp/>
①～⑤

桜井・法貴グローバル教育研究所

〒181-0003
東京都三鷹市北野4-2-26-104
TEL・FAX 03(5313)1995
①～⑤

開発教育教材

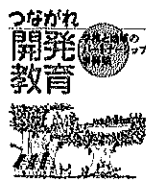
開発教育ブックレットシリーズ1
「開発教育」ってなあに？



開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価: ¥525 発行: 1998年

開発教育についての取り組みをわかりやすく紹介した入門書的な小冊子。

開発教育ブックレットシリーズ4
つなぐ開発教育
～学校と地域のパートナーシップ事例集～



開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価: ¥1,050 発行: 2001年

学校と地域が様々な形でパートナーシップをとりながら、地球的視野に立つ教育（開発教育や国際理解教育）に取り組んでいる国内外14の事例を紹介しつつ、パートナーシップのあり方や今後の課題を明らかにしている。

開発教育ブックレットシリーズ5
開発教育キーワード51



開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価: ¥1,575 発行: 2002年

開発問題・開発教育・国際理解に関する基本用語を明確にし、それぞれの関連性を整理した用語集。

新しい開発教育の
すすめ方



開発教育協会
TEL 03(3291)2757
定価: ¥2,400+税 発行: 1999年

テーマごとに模擬授業を紹介した、教師や社会教育現場で新しい開発教育に取り組む指導者のための参考資料。

新しい開発教育の
すすめ方Ⅱ「難民」
～未来を感じる総合学習～



開発教育研究会編・著
開発教育協会
TEL 03(3291)2757
定価: ¥1,800+税 発行: 2000年

「総合学習」の中で、「難民」を切り口にして、人権・平和・開発・共生・参加・未来等について、気づき、共感し、考え、そして態度を形成したり行動を起こしていく手助けとなることを目的に作成されている。

開発教育教材シリーズ2
いい貿易って何だろう
～一杯のコーヒーから考える世界の貿易～



開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価: ¥630 発行: 1999年

身近なコーヒーを題材として生産国の現状と世界の流通の仕組みを理解することを目的とした、そのまま授業に生かせる教材。

開発教育教材シリーズ4
新・貿易ゲーム
～経済のグローバル化を考える～



開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価: ¥840 発行: 2001年

「貿易」を中心に、世界経済の動きを疑似体験することによって、そこに存在するさまざまな問題について学び、その解決の道について考えることを目的としたシミュレーションゲーム。

開発教育教材シリーズ5
パーム油のはなし
～「地球にやさしい」ってなんだろう？～



開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価: ¥1,890 発行: 2002年

対象:中学生以上
ポテトチップス、チョコレート、カップラーメン、アイスクリームなどの原料になっているパーム油を通して、生産国で起こっている問題を知り、その問題の構造を理解し、さらに私たちの消費社会とのつながりを理解し、何が出来るかを考えることをねらいとしている。

開発教育実践の手引き



国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491
定価: ¥1,019 発行: 1993年

開発教育の実践例や海外での開発教育の事情を紹介。

参加型学習で世界を感じる
～開発教育実践
ハンドブック



開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価: ¥2,100 発行: 2003年

この一冊で開発教育の手法と学習プログラムとが学べる実践ハンドブック。参加型学習の基本的な手法（アクティビティ）や事例を紹介するほか、開発教育を「総合的な学習」の時間などで扱うための学習プログラムと教材を12のテーマでまとめている。好評の既刊「いきいき開発教育」「わくわく開発教育」を一冊にまとめたもの。

持続可能な開発のための
学び 別冊【開発教育】



開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価: ¥1,260 発行: 2003年

「持続可能な開発のための教育」とはどのような教育なのか、持続可能な社会をつくるためにどのような実践が求められているのかを考察するとともに、地域での学びの実践の事例も紹介。2005年からはじまる「国連・持続可能な開発のための教育の10年」に向け、理論と実践をまとめたハンドブック。

たずねてみよう！カレーの世界～スパイスと食文化の多様性～（改訂版）



書籍
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,260 発行：2003年
子どもたちの大好きなカレーを素材として、カレーに使われるスパイスの種類や効用の多様性を知り、さらにアジアの様々なカレーから見える各地域の食文化の多様性に気づくことをねらいとした参加型教材。初版発行後、実践者からの声を反映した改訂版。

ワークショップ版
世界がもし100人の村だったら



書籍
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,260 発行：2003年
ベストセラーになった絵本「世界がもし100人の村だったら」(マガジンハウス刊)の参加型教材。世界の格差と多様性をわかりやすく体験できる。開発教育や国際理解への導入に最適。

もっと話そう！平和を築くためにできること
—平和を築く学習キャンペーン資料集



書籍
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,260 発行：2003年
戦争や紛争の原因を深く掘り下げ、平和を築くために一人ひとりができることを考えるためのアクティビティのヒントを多数紹介。授業はもちろん、市民グループの集まりなど様々な場面で使える。

—教室と世界をつなぐ—
開発教育教材カタログ2003



書籍
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,575 発行：2003年
1995年以降に制作・発行された国内外の開発教育教材約150点を収録した教材カタログ。開発や環境、国際理解、国際協力などのテーマを扱うグローバルな視点をもった教材を収集し、体系的に整理している。

NEWマジカル・バナナ



書籍
冊子

問い合わせ先：(特活)地球の木
TEL 045(228)1575
定価：¥1,500 発行：2003年
私たちが食べているバナナがどこから来ているのか、どのような人たちがつくっているのか、またさらに私たちの食生活が世界の構造にどう関わっているのか、問題意識をもってもらう教材。クイズやカードゲーム、ロールプレイ、ランキングのほかにフォトランゲージや付録バナナものがたりが新たに加わった改訂版。対象者や時間に応じて組替えて活用できる。

わーい！外国人が教室にやってきた！！
学校と地域がつくる国際理解教育—教員ワークショップ報告書2002



書籍
冊子

問い合わせ先：(財)武蔵野市国際交流協会
TEL 0422(36)4511
定価：¥800 発行：2002年
「学校と地域がつくる国際理解教育」というテーマで、武蔵野市の国際理解教育の実践報告書として、主に地域の外国人との協働に焦点を絞ってまとめられている。地域との連携で国際教育にとりくもうとしているすべての方々に参考になるであろう一冊。

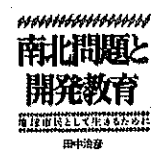
わーい！NGOが教室にやってきた！
学校と地域がつくる国際理解教育—教員ワークショップ報告書2003



書籍
冊子

問い合わせ先：(財)武蔵野市国際交流協会
TEL 0422(36)4511
定価：¥800 発行：2003年
「わーい！シリーズ」第2弾。「学校と地域がつくる国際教育」というテーマのもと、特に「NGOとの協働での授業作り」に焦点を絞った実践研究報告書。

南北問題と開発教育



書籍
冊子

問い合わせ先：田中治彦 著 亜紀書房 発行
TEL 03(5280)0261
定価：¥1,845+税 発行：1994年
開発教育の中心的課題である南北問題と国際協力、そして開発教育の理論と実践について解説。実践教材や実践事例も掲載されている。

ユニセフの開発のための教育
地球市民を育てるための実践ガイドブック

書籍
冊子

問い合わせ先：(財)日本ユニセフ協会
TEL 03(3355)3224
定価：¥100 発行：1998年
参加型の体験学習の例を分かりやすく紹介したガイドブック。

ユニセフによる地球学習の手引き
～新しい視点に立った国際理解教育(小学校、中学校)～

問い合わせ先：教育出版
TEL 03(3238)6965
定価：¥2,200+税 発行：1997年
国際児童基金による「ユニセフによる地球学習の手引き」に、日本の小・中学校での実践事例を加えたもの。

フードファーストカリキュラム
～食物を通して世界を見つめよう～

問い合わせ先：ERIC
TEL 03(3800)9415
定価：¥2,625 発行：1993年
身の回りの「食」を通して世界とのつながりを説明した本

国際理解教育



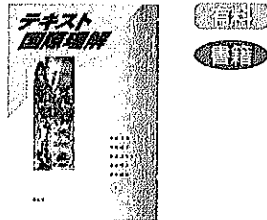
問い合わせ先：清水書院
TEL 03(3260)5261
定価：¥1,800+税 発行：1999年
「総合学習の時間」導入に向けて異文化理解、国際協力、自然環境などのテーマを現場の教師が取り組んだ実践事例集。

国際理解教育
地球市民を育てる授業と構想



問い合わせ先：国土社
TEL 03(3943)3721
定価：¥2,200+税 発行：1992年
地球環境や貿易、マイノリティなどのテーマから授業を組み立てられる題材を提供。

テキスト国際理解



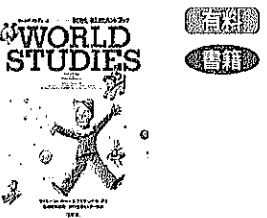
問い合わせ先：国土社
TEL 03(3943)3721
定価：¥2,000+税 発行：1997年
基本的な概念、理論的な枠組、アプローチの仕方を提示し、実践に役立つ具体例を盛り込み、教材として利用できるようにまとめたもの。

国際理解
重要用語300の基礎知識



問い合わせ先：明治図書出版
TEL 03(3946)3151
定価：¥2,660+税 発行：2000年
国際理解教育を広義にとらえ、できるだけ広い分野から項目を選び、解説を加えた用語集。読みやすく1項目1ページとし関連の深い項目を前後に配置するなど工夫をしている。

ワールドスタディーズ
～学び方・教え方ハンドブック～



問い合わせ先：ERIC
TEL 03(3800)9415
定価：¥2,500+税 発行：1991年
国際理解教育のさまざまな事例を説明した本。

地球市民教育のすすめかた
ワールド・スタディーズ・ワークブック



問い合わせ先：明石書店
TEL 03(5818)1171
定価：¥2,500+税 発行：1997年
参加型学習の実践事例集。「森林」「アボリジニー」「ジェンダー」などテーマごとにアクティビティを紹介。参考文献リストも収録されている。

あなたもできる
国際ボランティア

問い合わせ先：ジャパンタイムズ
定価：¥1,800+税 発行：1996年
ボランティア体験談、団体紹介、講座案内など、国際ボランティアへのさまざまな関わり方を紹介。国際ボランティアに興味のある人のための入門マニュアル。

開発教育のすすめ 南北共生時代の国際理解教育

問い合わせ先：かもがわ出版
TEL 075(432)2868
定価：¥1,942+税 発行：1996年
偏った国際化ではなくバランスのとれた世界認識を育てるための地理、歴史教育を実践している著者が、開発教育をわかりやすく解説。

学習の転換
新しい「学び」の場の創造

問い合わせ先：国土社
TEL 03(3943)3721
定価：¥2,400+税 発行：1997年
グローバル教育の提唱者の一人、D.セルビー氏によるワークショップや日本の学校・地域で行われている参加型授業などを紹介。「新しい「学び」の場」のあり方を問う。

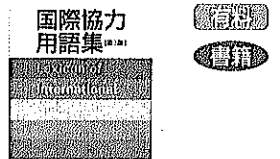
地球市民を育む学習
-Global teacher, Global learner-

問い合わせ先：明石書店
TEL 03(5818)1171
定価：¥3,300+税 発行：1997年
地域、国土、そこに暮らす人びと、社会・文化・自然現象、そして過去・未来・現在の相互関連、そして知性・感情・精神の相互補完的な関係性を述べた上で、学習者を中心に据え、体験的、相互的、民主主義的、参加型、包括的かつ変革思考の学習アプローチを提唱している。アクティビティも多く紹介されている。

アジアの子ども

問い合わせ先：明石書店
TEL 03(5818)1171
定価：¥1,553+税 発行：1994年
アジア各国の状況を、絵や図を使って紹介する子ども向け教材。

国際協力用語集 第3版



問い合わせ先：国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価：¥3,000+税
国際協力に携わる方から初心者まで幅広く国際協力関連用語の解説書。

国際協力ガイド2005



問い合わせ先：国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価：¥1,200+税
「仕事する」「参加する」「学ぶ」の3章で、国際協力に携わりたい人たちへ手がかりを提供する情報誌。

世界の子どもたち
—NGOの現場から—



有様
書籍

問い合わせ先: 明石書店
TEL 03(5818)1171
定価: ¥1,000+税 発行: 2002年
日本の子どもたちが開発途上国の現状を学ぶとき、その過酷な状況だけでなく、彼らが人間として持つ「豊かさ」にも目を向けて欲しいという思いが込められた一冊。フィリピン、インドネシア、インド、ジンバブエ、セネガル、ボリビアの詳細な情報や授業ですぐに取り入れられる実践方法も紹介されている。

世界の開発教育—教師のためのグローバルカリキュラム



有様
書籍

問い合わせ先: 明石書店
TEL 03(5818)1171
定価: ¥2,800+税 発行: 2002年
英国のDevelopment Education-Global Perspective in the curriculum*(1994)の邦訳。60年代以降の開発教育の軌跡と今後の課題をまとめた報告書的な一冊。

総合学習を学びの広場に
—手づくりと協働の知恵—



有様
書籍

問い合わせ先: 大月書店
TEL 03(3813)4651
定価: ¥2,200+税 発行: 2000年
「総合的な学習の時間」をきっかけに、学校を手作りと協働という新しい学びの広場とし、教育の文化を豊かにしていくための40の知恵が記されている。

地球買い物白書



有様
書籍

問い合わせ先: コモンズ
TEL 03(5386)6972
定価: ¥1,300+税 発行: 2003年
身近な商品は、どこで作られ、どうやって私たちの食卓や生活にやってくるのか。環境や人びとにどんな影響を与えているのか。そして、私たちに何ができるのかを考える一冊。総合学習に最適。

国際理解ハンドブック・シリーズ
「中国と出会う」



有様
書籍

問い合わせ先: 国土社
TEL 03(5348)3710
定価: ¥1,600+税 発行: 2000年
中国語で話して歌って遊ぶ。作って食べて、お話を読んでみよう。体験を通して異文化にふれ、違いを認めあう国際理解のための本。

国際理解ハンドブック・シリーズ
「フィリピンと出会う」



有様
書籍

問い合わせ先: 国土社
TEL 03(5348)3710
定価: ¥1,600+税 発行: 2002年
フィリピンの食べ物や遊び、言葉、歌などを楽しいイラストと文章で紹介。フィリピンの歴史や日本との関わり、在日フィリピン人の現状など、読み物も充実。

国際理解ハンドブック・シリーズ
「韓国・朝鮮と出会う」

有様
書籍

問い合わせ先: 国土社
TEL 03(5348)3710
定価: ¥1,600+税 発行: 1999年

国際理解ハンドブック・シリーズ
「ブラジルと出会う」

有様
書籍

問い合わせ先: 国土社
TEL 03(5348)3710
定価: ¥1,600+税 発行: 2000年

国際開発ジャーナル



有様
定期
刊行物

問い合わせ先: 国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価: ¥850

ODAと国際協力の系統的情報を網羅するわが国唯一の専門月刊誌。

開発教育キット (Part4)
アフリカ大好き!
—アフリカからこんにちは—

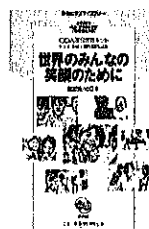


貸出可
ビデオ
テキスト

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

アフリカのエチオピアに住む少女の一日の生活を紹介。

ODA開発教育キット
世界みんなの笑顔のために

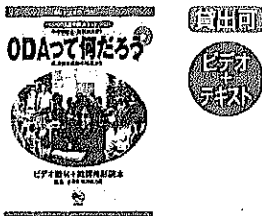


貸出可
ビデオ
テキスト

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

小学校6年生向けではあるが、ビデオ、テキストとも分かりやすくODAやベトナム、カンボジアを例とした援助が解説されている。

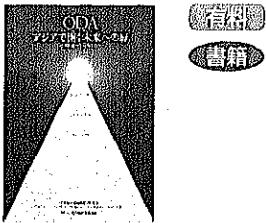
ODAって何だろう？



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

中米のグアテマラ、エル・サルヴァドルにおけるプロジェクトを中心に紹介し、日本の援助を分かりやすく解説。

ODA～アジアで開く未来への扉 国際協力の現場から～



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

定価：¥1,500 発行：1999年
ミャンマー、バングラデシュ、タイで行われたODAの事例について、計画から完成までフォローし「顔の見える援助」を分かりやすく解説。

APIC国際協カマンガシリーズ1 アリンゴと日本のママ～アフリカでよみがえった日本のぞうり～



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491
定価：¥900+税 発行：2000年

アフリカでの国際協力の例をモデルに、現地の人々と日本女性の心の交流を描いたマンガ。楽しみながら国際協力を理解できます。

国際協力プラザ



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491
定価：¥500

政府開発援助（ODA）を中心とした国際協力に関する総合的な月刊情報誌。

遊びながら世界を知ろう！

「世界をもっと知ろうよ！トランプ・マップ」

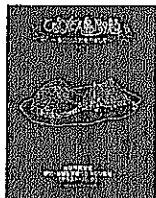


問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

世界の国々の国旗、面積、人口、平均寿命、総就学率、一人当たりGDP等を各カードに掲載し、子どもたちが楽しみながら学習できるようにトランプ形式にまとめた教材。アジア+大洋州編、欧+ロシア+NIS諸国編、アフリカ編、南北アメリカ編の4種類がある。

ひょうたん島問題

～多文化共生をめざして～



問い合わせ先：ジークス
FAX 06(6459)3913
定価：¥4,800+税 発行：2000年

多文化共生の観点から体験的に理解しようとするシュミレーション教材。CD-ROM、活動ツール、評価シート、解説などで構成。

国際理解教育ビデオ いっしょに学ぼうシリーズ 第2弾 バングラデシュ



問い合わせ先：日本ユネスコ協会連盟
TEL 03(5424)1121
定価：¥5,000 発行：1998年
バングラデシュを題材として参加型ワークが実践できるような内容となっている。

日本版ユネスコ・ピースパック



制作：日本ユネスコ協会連盟
掲載URL：www.unesco.or.jp
小学生向けであるが、平和教育の導入の題材として用いるには使いやすい教材。平和、環境のテーマで1コマの授業が組めるようシート状のツールとなっている。

JICA INFO-KIT

学校に行きたい！
～国際協力とわたしたち～



問い合わせ先：JICA国内機関
P82参照

主に小学生を対象とした国際協力に興味をもってもらうための導入の小冊子。分かりやすいように、写真や図を多用している。

クロスロード



問い合わせ先：協力隊を育てる会
TEL 03(3402)2153
定価：¥310

「顔の見える援助」の最前線で活躍している青年海外協力隊員をはじめボランティアの生の声を伝える雑誌（月刊）。

国際協力



問い合わせ先：国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価：¥6,000（年間購読）

途上国の現状やJICA事業に関するさまざまな情報を取り扱ったJICAの月刊広報誌。

JICAフロンティア



問い合わせ先：国際協力出版会
TEL 03(3372)6771
定価：¥6,000（年間購読）

JICA事業を幅広く紹介している広報誌。読みやすく国際協力の現状を解説。

フォトランゲージ

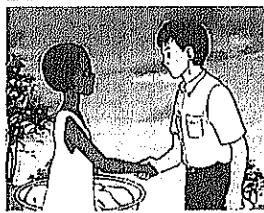
無料 写真



問い合わせ先：JICA国内機関 P82参照

途上国の風景、日常の生活、子どもたちの様子など、カラー写真5枚1セット(7ヶ国分あります)で構成され、生徒の想像力やプレゼンテーション能力を高めることを目的として作成された。

開発途上国ってどんな国?
～小さな友情から大きな夢へ～



貸出可 ビデオ

問い合わせ先：JICA国内機関 P82参照

日本人の少年が途上国を訪れ、現地の生活の困難さを目の当たりにし、途上国を認識していくアニメーションビデオ。

約束～アフリカの水と緑～

貸出可 ビデオ

問い合わせ先：JICA国内機関 P82参照

日本人の少年とアフリカの遊牧民の子供との友情を描くアニメーションビデオ

JICAくんの国際協力って知ってる?

JICAくんのようこそ日本へ!
～日本で学ぶ世界の研修員～



貸出可 ビデオ

小学校高学年向けの、国際協力やJICA事業を紹介したビデオ。「ようこそ日本へ!」は開発途上国からの技術研修員に焦点を当てて構成している。授業等で扱いやすいようにいずれも12分にコンパクトに編集されている。

それぞれの地平線

貸出可 ビデオ

問い合わせ先：JICA国内機関 P82参照

ケニア、ブラジル、カンボジアの援助を通じて、技術協力の意義、役割を紹介。

「地球の仲間たち」
フォトランゲージバージョン



貸出可

写真

テキスト別売

問い合わせ先：開発教育を考える会
FAX 046 (255)1867
e-mail:chikyu@group.email.ne.jp
定価：¥800(テキスト別売¥500)

世界の子供の写真5枚(A4版)に加え、写真解説、子どものメッセージカード、読み札カードがセットになっている。同じ地球に生きる仲間たちの生活を知ってもらうことをねらいとしたフォトランゲージ教材。全25カ国(価格は1カ国あたり)。テキスト(利用解説書)は教材の使い方と授業に役立つワークシートを掲載。

「地球の仲間たち」
フォトランゲージ



問い合わせ先：
制作：開発教育を考える会
販売：有限会社イント
TEL 03 (5725) 5688
FAX 03 (5725) 5689
URL <http://www.nakametachi.jp/>
(体験サイト)

定価：
シングルライセンス(個人用) 5700円
5台ライセンス(授業用) 27500円
22台ライセンス(授業用) 12万円
学校内無制限ライセンス(授業用) 18万円

19カ国20人(ルーマニア、ニジェール、エチオピア、ヨルダン、スリランカ、ネパール、フィリピン、ラオス、パプアニューギニア、USA、ホンジュラス、コロンビア他)の子どもたちの日常生活(家族、学校、遊び、食事、時間割など)をクイズやフォトランゲージで紹介。子どもたちの夢やあいさつ、国の紹介等が網羅されています。英語の授業にも対応。

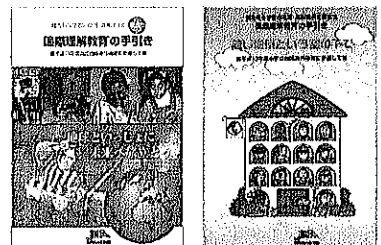
「NEWマジカルバナナ」
補助教材CD-ROM

貸出可 CD-ROM

問い合わせ先：(特活)地球の木
TEL 045 (228) 1575
定価：¥1,000 発行：2003年

「New マジカルバナナ」の補助教材。クイズの問題や解答用グラフ、バナナの資料写真をはじめとしてフィリピンの暮らし、こども達、食などテーマ別に70数枚の写真を取載。フィリピンの農村のイメージ作り、又プリントアウトしてフォトランゲージ用写真に活用できる。

教師海外研修バックナンバーのご紹介



無料 冊子

問い合わせ先：JICA国内機関 (P82参照)

本研修に参加した教師の実践例を収めた教材集のバックナンバーです。詳しくはJICA支部・センターまでお問い合わせ下さい。

協力隊体験を伝えよう2

～生きる力を育てるワークショップ集～



貸出可 書籍

問い合わせ先：
青年海外協力協会
TEL 03 (3406) 9151
定価：¥1,000(送料¥270)
発行：2002年

青年海外協力隊経験者が自らの体験に基づいて得た国際理解、異文化理解をそれぞれの地域で伝えようと取り組んできた実践報告書。

開発教育教材「ワールド・ボックス」

問い合わせ先：青年海外協力協会
TEL 03 (3406) 9151
貸出料金：
3,000円×ボックス数
衣類は2,000円×点数

開発教育のワークショップでは、実際に手に取って眺め、体験できる生活用品や写真などを使用することが多くなっていますが、途上国の品物は手に入れるのが難しいのが現状です。青年海外協力協会（JOCA）では途上国の民芸品や生活用品等を収集し説明書をつけ、国別・テーマ別に箱に納めた「ワールド・ボックス」を用意しています。

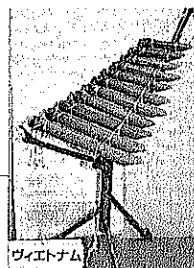
<http://www.joca.or.jp>

物品の例



ボリビア
・マンタ（ショール）やボジェーラ（スカート）などの普段着が納められています。

ヴェトナム
・ダン・トウルンと呼ばれるミニチュアの竹もっきんです。分解して持ち運びできます。



他にもインドネシア、バングラデシュ、タンザニア、トンガなどに加え、新たに中国、メキシコ、エジプト、コートジボワールなどが加わり、28ヶ国分のBOXがあります。

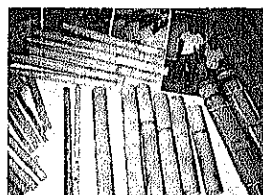
国際理解教育教材
フィリピン・ボックス



問い合わせ先：ピナツボ復興むさしのネット
TEL 0422 (34) 5498
貸出料金：¥3,000

民族衣装や生活用品など40点、写真60枚、解説や授業案などの資料。アジアの国々や国際協力などの学習の導入として、またゲストの小道具として利用できる。

フィリピン・
竹の楽器ボックス



問い合わせ先：ピナツボ復興むさしのネット
TEL 0422 (34) 5498
貸出料金：¥3,000

山岳少数民族の伝統的な竹の楽器6種、写真35枚、演奏方法ビデオ。

戦争と女性を考える
ワークショップ・キット



制作：フィリピン元「慰安婦」裁判支援ネット・三多摩
問い合わせ先：ピナツボ復興むさしのネット
TEL 0422 (34) 5498
貸出料金：¥3,000

世界各地で現在も続く戦争・紛争下での性暴力や平和についてジェンダーの視点に立った話し合いに。

バングラデシュ・
ボックス 貸出教材

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03 (5844) 3630
貸出料金：¥3,150
送料別途実費

バングラデシュで日常使われている「もの」や写真が詰まったボックス教材。バングラデシュの衣服や鍋などの生活用品約12点、写真パネル38枚、教材についての解説カード、バングラデシュについての基礎知識をまとめたバングラ・ブック、この教材の活用事例を紹介した事例集が入っている。

JICAはこんなこともしています

●中学生・高校生エッセイコンテスト

中学生と高校生を対象に国際協力について考える機会の提供の一環として、毎年、開発途上国や国際協力をテーマにしたエッセイを募集しています。優秀者には開発途上国への研修旅行がプレゼントされます。2003年度の応募総数は26,907点でした。

●教師海外研修

国際協力に関心があり、授業やクラブ活動などで開発教育や国際理解教育を実践している小学校・中学校・高校の教員を対象に、開発途上国での国際協力の現場を視察し、今後の授業に役立ててもらうことを目的とした研修プログラムです。詳細はお近くのJICAの国内機関にお問い合わせ下さい。

●国際協力実体験プログラム

JICA国内機関では、研修員との交流、帰国した専門家や青年海外協力隊OB・OGによる講義やワークショップに参加する生徒を募り、国際協力への理解を深めています。

●青年海外協力隊（JOCV）体験入隊プログラム

青年海外協力隊訓練所（福島県二本松、長野県駒ヶ根）では、地域の中学生に協力隊活動を理解してもらうために体験入隊プログラムを実施しています。

●大学生エッセイコンテスト

主に大学生を対象に、国際協力について考える機会の提供の一環として、毎年、開発途上国や国際協力をテーマにしたエッセイを募集しています。優秀者には欧州や東南アジアへの航空券などがプレゼントされます。2003年度の応募総数は352点でした。

●JICAインターン

将来、国際協力の分野で活躍することを希望する大学生・大学院生を対象に、JICAで短期的に実務を経験し、国際協力分野での研究を深める機会を提供します。

●JICA国際協力出前講座 （旧「サーモン・キャンペーン」）

開発途上国で国際協力に携わったJICA職員、青年海外協力隊OB・OG、来日中の研修員や帰国専門家などを全国各地の学校や地方自治体、国際交流団体、NGO 講座などに講師として派遣します。講師は自らの経験をもとに写真やビデオを見せたり地図を広げたりしながら、わかりやすく講義します。

■ JICA はこんなことを募集しています

年 齢	20 歳		30 歳	40 歳	50 歳	60 歳+
	(中学校生活)	(高校生活)	(大学生生活)	社会人		
募集内容	中学生エッセイ コンテスト	高校生エッセイ コンテスト	大学生エッセイ コンテスト	青年海外協力隊（JOCV） 募集対象年齢（20才～39才）		シニア海外ボランティア 募集対象年齢（40才～69才）
			日系社会青年ボランティア 募集対象年齢（20才～39才）		日系社会シニアボランティア 募集対象年齢（40才～69才）	
	（個別） 専門家 登録可能年齢（30才～59才）					
			ジュニア専門員 募集対象年齢 （25才～35才）	国際協力専門員 募集対象年齢 （35才～50才）		
	青年招へい合宿セミナー 参加者対象年齢（20代後半～40才）					
	（先生方には小学校・中学校・高校教師海外研修）					

地域国際化協会一覧

都道府県	団体名	所在地	電話番号 (FAX番号)
北海道	(社)北方圏センター	〒060-0003 札幌市中央区北三条西7丁目 道庁別館12F	011-221-7840 (011-221-7845)
青森県	(財)青い森みらい創造財団国際交流課	〒030-0803 青森市安方1-1-32 水産ビル5F	017-735-2221 (017-735-2252)
岩手県	(財)岩手県国際交流協会	〒020-0025 盛岡市大沢川原2-4-20 岩手県立国際交流プラザ内	019-654-8900 (019-654-8922)
宮城県	(財)宮城県国際交流協会	〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎7F	022-275-3796 (022-272-5063)
秋田県	(財)秋田県国際交流協会	〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館4F	018-864-1181 (018-864-0160)
山形県	(財)山形県国際交流協会	〒990-8580 山形市城南町1-16-1 霞城セントラル2F 山形県国際交流センター	023-647-2560 (023-646-8860)
福島県	(財)福島県国際交流協会	〒960-8103 福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館 2F	024-524-1315 (024-521-8308)
茨城県	(財)茨城県国際交流協会	〒310-0851 水戸市千波町後川745 県民文化センター2F 分館	029-241-1611 (029-241-7611)
栃木県	(財)栃木県国際交流協会	〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内	028-621-0777 (028-621-0951)
群馬県	(財)群馬県国際交流協会	〒371-0026 前橋市大手町2-1-1 群馬会館3F	027-243-7271 (027-243-7275)
埼玉県	(財)埼玉県国際交流協会	〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和地方庁舎3F	048-833-2992 (048-833-3291)
千葉県	(財)ちば国際コンベンションビューロー	〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 W.B.G マリブイースト14F	043-297-0245 (043-297-2753)
東京都	(財)東京都国際交流委員会 事務局	〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第一本庁舎26階南側 (生活文化局文化振興部内)	03-5320-7739 (03-5388-1327)
神奈川県	(財)神奈川県国際交流協会	〒247-0007 横浜市中区小菅ヶ谷1-2-1 神奈川県立地球市民かながわプラザ1F	045-896-2899 (045-896-2945)
新潟県	(財)新潟県国際交流協会	〒950-0078 新潟市万代島5-1 万代島ビル2階	025-290-5650 (025-249-8122)
富山県	(財)とやま国際センター	〒930-0856 富山市牛島新町5-5 (インテック明治生命ビル 4F)	076-444-2500 (076-444-2600)
石川県	(財)石川県国際交流協会	〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール3F	076-262-5931 (076-263-5931)
福井県	(財)福井県国際交流協会	〒910-0004 福井市宝永3-1-1	0776-28-8800 (0776-28-8818)
山梨県	(財)山梨県国際交流協会	〒400-0035 甲府市飯田2-2-3 山梨県国際交流センター内	055-228-5419 (055-228-5473)
長野県	(財)長野県国際交流推進協会	〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2 長野県庁内	026-235-7186 (026-235-4738)
岐阜県	(財)岐阜県国際交流センター	〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館6F	058-277-1013 (058-272-8839)
静岡県	(財)静岡県国際交流協会	〒420-8601 静岡市追手町9-6 静岡県庁西館4F	054-221-3355 (054-251-8148)
愛知県	(財)愛知県国際交流協会	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 愛知県三の丸庁舎内	052-961-8744 (052-961-8045)
三重県	(財)三重県国際交流財団	〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3F みえ県民交流センター	059-223-5006 (059-223-5007)
滋賀県	(財)滋賀県国際協会	〒520-0801 大津市におの浜1-1-20ピアザ淡海2F	077-526-0931 (077-510-0601)
京都府	(財)京都府国際センター	〒600-8216 京都市下京区烏丸通堀小路下ル 京都駅ビル9F	075-342-5000 (075-342-5050)
大阪府	(財)大阪府国際交流財団	〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1番 りんくうゲートタワービル17F	0724-60-2371 (0724-60-2377)
兵庫県	(財)兵庫県国際交流協会	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センタービル内	078-230-3036 (078-230-3080)
奈良県	(財)なら・シルクロード博 記念国際交流財団	〒630-8215 奈良市東向中町28 奈良近鉄ビル6F	0742-27-1822 (0742-27-2434)
和歌山県	(財)和歌山県国際交流協会	〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ「和歌山ビッグ愛」8F 和歌山県国際交流センター内	073-435-5240 (073-435-5243)

都道府県	団体名	所在地	電話番号 (FAX番号)
鳥取県	(財)鳥取県国際交流財団	〒680-0947 鳥取市湖山町西4-110-5	0857-31-5951 (0857-31-5952)
島根県	(財)しまね国際センター	〒690-0826 松江市学園南1-2-1 くにびきメッセ2F	0852-31-5056 (0852-31-5055)
岡山県	(財)岡山県国際交流協会	〒700-0026 岡山市奉還町2-2-1 岡山国際交流センター内	086-256-2000 (086-256-2226)
広島県	(財)ひろしま国際センター	〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F	082-541-3777 (082-243-2001)
山口県	(財)山口県国際交流協会	〒753-0811 山口市吉敷3185-1	083-925-7353 (083-920-4144)
徳島県	(財)徳島県国際交流協会	〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6F	088-656-3303 (088-652-0616)
香川県	(財)香川県国際交流協会	〒760-0017 高松市番町1-11-63	087-837-5901 (087-837-5903)
愛媛県	(財)愛媛県国際交流協会	〒790-0844 松山市道後一万733番	089-917-5678 (089-917-5670)
高知県	(財)高知県国際交流協会	〒780-0870 高知市本町4-1-37	088-875-0022 (088-875-4929)
福岡県	(財)福岡県国際交流センター	〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡内	092-725-9200 (092-725-9206)
佐賀県	(財)佐賀県国際交流協会	〒840-8570 佐賀市城内1-1-59	0952-25-7921 (0952-25-7417)
長崎県	(財)長崎県国際交流協会	〒850-0873 長崎市諏訪町5-20	095-823-3931 (095-832-2400)
熊本県	熊本国際協会	〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号 県庁行政棟本館7階 熊本県企画振興部国際課内	096-385-4488 (096-385-4488)
大分県	(財)大分県国際交流センター	〒870-0047 大分市中島西3-1-7	097-538-5461 (097-538-5162)
宮崎県	(財)宮崎県国際交流協会	〒880-0804 宮崎市宮田町1-6 県庁東別館6F 宮崎県国際交流センター内	0985-32-8457 (0985-32-8512)
鹿児島県	(財)鹿児島県国際交流協会	〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター 1階	099-221-6620 (099-221-6643)
沖縄県	(財)沖縄県国際交流・人材育成財団	〒900-0034 那覇市東町1-1 那覇東町会館7F	098-941-6755 (098-941-6812)

札幌市	(財)札幌国際プラザ	〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNBビル3F	011-211-2105 (011-232-3833)
仙台市	(財)仙台国際交流協会	〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内	022-265-2211 (022-265-2485)
千葉市	(財)千葉市国際交流協会	〒260-0028 千葉市中央区新町1000 センシティタワー12F	043-238-8000 (043-238-8550)
横浜市	(財)横浜市国際交流協会	〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル9F	045-671-7128 (045-671-7187)
川崎市	(財)川崎市国際交流協会	〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町237-1 川崎市国際交流センター内	044-435-7000 (044-435-7010)
名古屋市	(財)名古屋国際センター	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1	052-581-5678 (052-581-5629)
京都市	(財)京都市国際交流協会	〒606-8436 京都市左京区栗田口鳥居町2-1	075-752-3010 (075-752-3510)
大阪市	(財)大阪国際交流センター	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6	06-6772-5931 (06-6772-7600)
神戸市	(財)神戸国際協力交流センター	〒651-0087 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館20階	078-291-0641 (078-291-0691)
広島市	(財)広島平和文化センター 国際交流・協力課	〒730-0811 広島市中区中島町1-5	082-242-8879 (082-242-7452)
北九州市	(財)北九州国際交流協会	〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター3F	093-662-0055 (093-662-6622)
福岡市	(財)福岡国際交流協会	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1	092-733-5630 (092-733-5635)

参考資料

■問い合わせ先 独立行政法人国際協力機構（JICA）国内機関一覧

JICA札幌

(担当地域：帯広市を含む東部地域以外)
〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25
TEL 011 (866) 8333

JICA帯広

(担当地域：帯広市を含む東部地区)
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1-2
TEL 0155 (35) 1210

JICA東北

(担当地域：青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県)
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービル15階
TEL 022 (223) 5151

JICA二本松

(担当地域：福島県)
〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2
TEL 0243 (24) 3200

JICA筑波

(担当地域：茨城県)
〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6
TEL 0298 (38) 1111

JICA 東京

(担当地域：栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・
東京都23区・新潟県)
〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-5
TEL 03 (3485) 7051

JICA横浜

(担当地域：神奈川県)
〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-3-1
TEL 045 (663) 3251

JICA八王子

(担当地域：東京都23区以外・山梨県)
〒192-0043 東京都八王子市眺町2-31-2
TEL 0426 (26) 5411

JICA駒ヶ根

(担当地域：長野県)
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL 0265 (82) 6151

JICA中部

(担当地域：静岡県・岐阜県・愛知県・三重県)
〒465-0094 愛知県名古屋市名東区亀の井2-73
TEL 052 (702) 1391

JICA北陸

(担当地域：富山県・石川県・福井県)
〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1
金沢パークビル3F
TEL 076 (233) 5931

JICA大阪

(担当地域：滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・
和歌山県)
〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25-1
TEL 0726 (41) 6900

JICA兵庫

(担当地域：兵庫県)
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
TEL 078 (261) 0341

JICA中国

(担当地域：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県)
〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1
TEL 0824 (21) 6300

JICA四国

(担当地域：徳島県・香川県・愛媛県・高知県)
〒760-0050 香川県高松市亀井町5-1
百十四ビル13階
TEL 087 (833) 0901

JICA九州

(担当地域：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・
大分県・宮崎県・鹿児島県)
〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1
TEL 093 (671) 6311

JICA沖縄

(担当地域：沖縄県)
〒901-2552 沖縄県浦添市字前田1143-1
TEL 098 (876) 6000

以上の最寄りの国内機関にお気軽にお問い合わせ下さい。

総合的な学習の時間・選択教科に役立つ国際理解教育の手引き

「手をつないで世界をつなごう」

平成14年度 小学校教師海外研修に参加して

平成16年3月発行

発行者 独立行政法人 国際協力機構

〒151-8558

東京都渋谷区代々木2丁目1番1号

新宿メインズタワー9階

TEL 03-5352-5628 FAX 03-5352-5018

URL <http://www.jica.go.jp/>

この冊子は再生紙を利用しています。



JICA
LIBRARY